大藏男の滿洲問題質問®

満鐵の特殊使命

と監督官の

り したやうに、満郷は或は交通機関 こか、或は國防産業さか、或は基 本産業さいふやうなものを經營す べき特殊の使命があるので、其為 ではない。

かべき重要膨栗に出来るだけそのかべき重要膨栗に出来るだけその

概されるので、政局の成一の間に協議診斷が進められてゐた。を卸職告、三最前の決定を見た結案から何人かゞ陸根さな。職、海縣教育總監、植田委讓來梯陸。十日小田殿海那郎から御騰遺跡に続めり、現內閣が瓦壞す。 『東京事典論については過職來梯陸』十日小田殿海那郎から御騰遺跡に勢めり、現內閣が瓦壞す。 『東京二十四日奏國道』三月の陸「が、陽院養課機長宮殿下が去る二十二十四日

『東京二十四日会國部』貴族院 襲越會で山殿康氏(昭)大総俗標 (昭)は稱や問題で薔薇、小山、

内容が発く絶更されるもので像地 される

陸軍の定期異動

來月十日ころ發令

綱紀問題質問

言議に座

鄉軍有志蹶起

内部關係は再び

現内閣瓦解の場合

切な事である、日本さしてはが先づ 兩國間 に起るといふことが一番大といることが一番大

てゐる觀念であつて兩國で私が根本的に持つ

問題發生阻止に努力

界 未 鈴 人行發 治代喜本 湯 人輔網 盛 武 村 本 人嗣印 地番一卅町園公東市連大 社報日洲滿 社會式漆 所行登

日支懸案

れから本腰で仕事をする際である、今少し長く居たかつたが御 大典に間に合はさうさ急いで歸 盗い

滿鐵衛生研究所の第六十八回學術 より同所圖書室において開催、左集院會は二十七日(火)午後一時

衞硏學術集談會

あるが、内定した進級動権の主な一大佐が他の撃艇に軽揮する位で大佐が他の撃艇に軽揮する位で 朝鮮軍司令官 中將 川島

技術上の

交涉必要

南京訪問

後有吉公使語る

任少將

第一師園司令部附

日支懸案につき汪精衛氏と約二 日支懸案につき汪精衛氏と約二 なほ双方研究を要するので相當 の時日を要するので相當

りつたものでないが、圧

| 恕一氏(彌生會理事)同上

| 陸軍士官學校長

任中將(各通)

任大將

遍せる有吉公使は次の

二日愛國通』今朝南京

君はそよ

る月新譜

深行政権快な水

凌太郎赤城の唄松竹下加茂トー

喜海林太

鹿兒島小原

キング グ

壽造

-四日午前七時四十分着列車 ||選明氏(關東軍々醫總監) ||電影展同伴來連

結婚申込 〇〇

大官、豪族大長、関東軍大人官、豪族大長、関東軍

和東京警備司令官 和東京警備司令官 中将 西

第八師團長

る、なほ宮脇氏は三土 てゐる 一般注目される。なほ宮脇氏は三土 てゐる 田經營地域に

水利組合を設立 水利局撤廢後の對策

貴院、綱紀問題を

▲山口中佐(旅順要港部主計長)同上

てすか。

同日午前九印登はさにて

しく思ひます。なぜ、私のやうな

おれて来ました、そして貴女の はないやうです。昨日、Qビル

異常選択●日の丸の族

日本の質

目話トーキーロッポン

b

私の親友は、私が貴女に持つて

「あの人となら、結婚しても

元禄花

三薩摩ィブ

機・眦らかな兵隊

氏(關東臘外事課長)

き子爵は、思い切って、親く呼

在はないこさへ考へてゐます。貴女ほご、清らかな智

びかけた。

世界の情勢動く

へ赴く康定 ◆村田治郎氏(「満洲建築協會書記の處へ来て下きつたのが、間違つ ◆石田 茂氏(満洲建築協會書記の處へ来て下きつたのが、間違つ 長)同上 でるたのですか。

教 るのですか。 な るのですか。

て、口に出し得なかつれ事なので、これは、こ云つてくれました。これは、

電 (場面文献の変数の府にもが長たり の責任を問ひ、大家性権氏は済

中立水帶設置は

文相にどり致命的

三日餐園前 英モーニングポスト紙社説

蛇角

で、 先日満洲國本認ったはイギリスでも非常で

港うちる丸で來低二十五日はさに官筒井潔氏は夫人同伴二十四日人 星野總務司長

要からて各國もが同様の必要から 東門月の解放を説くのは通敵の必要をして、アメリカが極い、アメリカが極い、アメリカが極い、アメリカが極い。 陽和一變、それもよい、この説、 50

満洲國承認同題が追ッ手に帆を

満洲國な承認するに至るであらう

意を表す、濃情がもの一概解軍、友愛會を訪問して、 くせ者、用心が肝要。 たども、太平洋の波濤はこか

たします上におきましても、産業 も職務を取らなければならないのりまして、それ等の話に於て軍さ しまする上に於ても、赤崎道敷設・満頭が今日共國防産業を終營いた

に基いて消滅さいふも しなければならのので していばならのので していばならのので

しても中央政府からこれにならいのであり

内部に後来色々の懐緊もあり、又の部に後来色々の懐緊もあり、文明語になりましたやうな、滿線ののであります、前回の議會で

光程御話になりました

常駐監督官を置くこさが必要でに、滿頭の内部に頻繁に接腕す

機であったと思

洋棠 レコー

交響曲第八



城 護 美急越本竹 段ノ谷 陣 東本竹

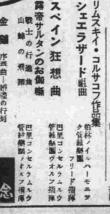


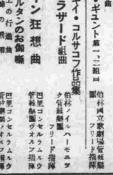


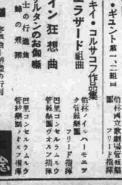


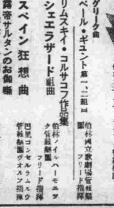




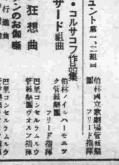


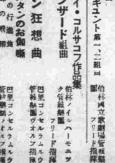




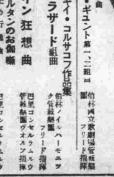












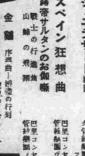


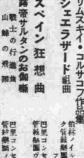


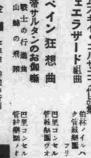


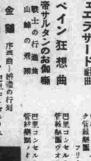


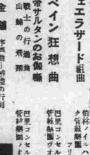


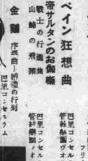


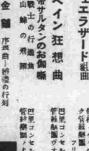




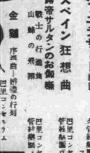


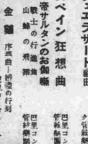










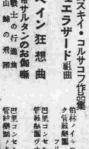


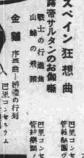






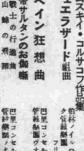






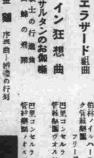












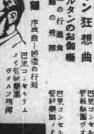










































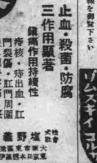


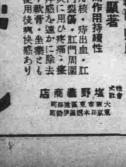


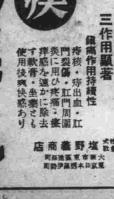


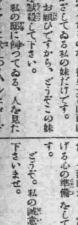




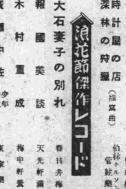


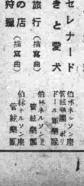






















































岡部平太氏語る

於て日本の立場を不利に陷 である、國際オリムビツ は、不利に陥るものは支 が強いて自我を貫くために

る運動を行ふ

関際オリムビック季員會に 育めた日本主流州國ごに負し であるが、これは極東大會統 であるが、これは極東大會統

大典慶祝運動會

総大運動会を開催に決定、 一時で、 一時で、 一時で、 一時で、 一時で、 一時で、 一時で、 では、 一月一日を慶祝し 理問いる。 が認識を行った結果、 す部代表は が認識を行った結果、 す部代表は が認識を行った結果、 す部代表は の準備に取 六月三日に開催決議

一日より三日間各戸に日南國一に慶脱級分を現出する常日は休日さず

久愛會員に

感謝の意を表す

芝居、高脚獅その他を催して大いなほぶ洲國人側では武場跡で支那

人情將軍·西部隊長一

現金廉賣・

返品返金自由

金州無賃配達

一二、〇〇……六五、〇〇

(可認物便郵種三第)

であるが、単微ででは、 一変にできばでき、 一変にできばでき、 一変にできばでき、 一変にできばでき、 一変にに取り現金及びな類五十餘 が、単微に取り現金及びな類五十餘 が、単微に取り現金及びな類五十餘 であるが、単微でこれなど多



に贈る

大會參加問題に關して

國體協が宣言文

慶脱記さして特命金権大使変が隆一を贈呈する事さなり廿四日入港う日本政府は来るべき滿洲國大典の一大將の手を終て金銀七寶の大花版 日本政府から執政へ

が開始される模様である 滿鐵旅行案內

鏡いメスを加へるに決定した、な一既に内値の結果場げられてなり、れた機會に非公益能な組合に難じ 又はໜ謝訓入上聴問視される點が気が持ち上つたもので管局ではこ 金及び宴會戦等の行方不明の風説 されす秘に内値中、今時の不當行 ほ薬普絲酸組合の内部に對し入會されす秘に内値中、今時の不當行 ほ薬普絲酸組合の内部に對し入會

大連署で方針を決定

常制度がは世界全體に大きな波紋に東京特電二十四日發』淅洲國の 横濱へ飛機輸送 二日出帆船で米國へ

は犯人西村は映画館のコタモンさ 調べの制事も舌を登いてゐる。な 調べの制事も舌を登いてゐる。な してブラッ

二月二十五日より三月三日まで

特約店募集 衛業家內呈上表 京都市二條通西洞院東人 京都市二條通西洞院東人 京都市二條通西洞院東人 のて居りまず御利用下さい四年春の流行染形見本豊富に

聚集人員 第一部約二〇名第二部甲、乙各約一五名 三月二

\^^^\^\

23B∋∪ 27Bマデ 甘五·六日

春の新柄衣裳は續々入荷中 る場合の お買物は此の際!! を表現の を表現を を表現の を表しの を表現の を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表し を表し を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しる を表しる を表しる を表しる

全商品二割引 特撰品 割号

の総、世界的名質の れたが河原外事際長に嘘き機ど機 分養卵車にて新京に送った『寫真分にくるさころあり午前十時三十 日本開催絕望 共濟會を計畫

會は最に激励に對して出來るな

院現た期であことになった 電現た期であることになった

田中屋の 回

o現金割引大投高 0棚卸决算=残品處分 ******************

磐城町

物、綿布類八二割引 物、綿布類ハニ割り

全商品

作を膨決し四時半散會した。
現大運動會を新京に於て舉行する

を満場一致可決、触點なるスポーさに好意的斡旋を願ふ旨通告するこ

の愛護並びに向上運動に向って

び本年六月三日を馴し大無慶 がスケット、バレー、蹴ぶの バスケット、バレー、蹴ぶの である。

交那の策謀は

道樂器店に對き三ケ月の組合員資料合協定値段を破棄した奉天の中

何等恐るゝ要ない

断然弾壓する

が ある際電子山敷液の選手の一間は からる際電子山敷液の選手を戸外能に誘機とて 二十八日の際協事事会の窓駅を一間は これてもくられているためこれの目から これのでは、 蓄音器商組合も

七寶大花瓶一

大種を選び悪風は波大種を選び悪風は波

開催して差支へない意向であるは流洲さへ承知ならオランダでは流洲さへ承知ならオランダで

春秋運動會開催その他の て會員の親睦協調をはか 毎月給料の百分の一を

肉にも長、吉田耐氏際放の監後前。 の取調べた受けてゐたが、途に皮 頭を命ぜられ闖本檢察盲事務取扱 の證言は全然事質に反するものであるさ昨年十月平田氏を告録 酸以來平田氏は慶々檢察局に出 在哈要人赴京

大典映畵ニュースを

出願期日 試驗期日及場所 縣 滿鐵設立營口商業實習所



"春だ、大地を耕せ 鏡泊學園生湖畔

ていると、目的地の ユース部は日本各新聞社及び松竹 ス及びバラマウントのトーキーニ 同様で日本に支社を持つフォック ので米國の力の注ぎ方も日本 つては概能大きな問題を投げかけを推き起すものであるが米國にさ

濕地用特別トラクターも出來た

病勢恶化重態

等·蘇·語·〇吳服全般"三一掃·為 赤札附

半額品 、大處分 澤

日滿合同で慶祝

東京特電二十四日登 満洲國参 警察に歌らみだりに容験するを評。 版 三、期日 六月三日 に繋する四十五銭の利益協選に黙 に大運動會 手も運動開始 が大連署では取締禁製でない自由 よその財締方を要認し来る者もある 者 その財締方を要認し来る者もある 者 その財締方を要認し来る者もある 者 での財命方を要認し来る者もある 者 の財命方を要認し来る者もある 者 の財命方を要認し来る者もある 者 に繋ぎるのは、一般の関一側五銭 解

を表していまく、天を傾いて脾解氷期さ共にを飾りカミ! 「寒な込れるべく、天を傾いて脾の数な洩らしてゐた鏡泊撃間の 能地鏡消御畔に向って行 したが、これより先吉林省並塞第、

正原に大力を帯の上京農 大力の大学の上京農 でもったのでは、大力のターない。 はり贈られた トラクターな は、大力のターな は、大力のターな は、大力のターな は、大力のターな には、大力のターな には、大力ののでは、大力ののでは、大力ののでは、大力ののでは、大力

一手で松竹され社は定期が空を利が各社の狙ふさころは航空物法の 編物と子供服の大附録 本三十五· 《東京二十四日愛國通』小說家面

・心臓の衰弱

の空前の大見切い 0

○春の御用意はいの 好機

934年春衣裳新紫品

一日から三日間兩國旗掲揚

映樂館の管理

日本空輪会社に新鉄機ジー・エー 四三姓の借入惣割成つたと噂され である、だが米国に送るには飛便

州卓球原門選手権大会は二十五日本社後援漁州卓球協會主催の全滅

團體卓球大會

時職選出帳のフーヴアー號をミスより外なくその船便も二日午後三

州外代表撫順二階號、州内代表大年前九時より本社議堂において、

すると十日のグランド號まで行た

特質もあり、是非御覧下さい。
が一般は、今迄にない素晴しいも
が一般は、今迄にない素晴しいも
が一般です、材料の大家仕

偽證罪で拘引

吉田兩氏は昨夜釋放さる

に合はなければ飛行機で追びかければならず、それではニュースの

部、3撫順天狗俱樂部、4全1 佐順師範同窓會、2山本俱

関値がなくなる響でごうしても

旗行列で祝賀式へ

平田氏が胸診果さして指引されたも纏れ行く吹樂館事件であるが、

家を總舐 にないない。 ここではれんさしてにないないが満洲国皇帝郎位の感像を世界のスリー 8

舌を卷かすその手口 不天気予報

黎明寮、清明寮、太山寮

北西の風晴時々曇

女王 ……たて00 ----A.1110

3 4 年型雑雛

趣味の人形

機御御菱高ボ御御 勝三 数 ボ

詳國人形、茶の湯道具、火 鉢 類御所人形、木目込入形、淺草 人 形 レコード雛 ワンワン雛 おずべり雛愛 犬 雛 新南群島雛 人形使節に 町速浪速





トーキー体假記である。それに設秀を整十貫のトーキー保護さんで被滅技がは見される假記である。破滅技がは見される假記である。破滅技がは見される假記である。破滅大力がは見される假記である。は対力を盛ることに大力で動きといる分を盛ることに大力を動きといる分を盛ることに大変対して、作品に一つのカラーなど、作品に一つのカラーなど、作品に一つのカラーなど、

・ の喜劇的演出は特徴する程極れ この喜劇的演出は特徴する程極れ この喜劇的演出は特徴する程極れ この喜劇的演出は特徴する程極れ

機なさして異る一つて、見込むばかりだ。

立開番さお

松竹蒲田ト

キー中央映書館

に登場させて美はせてある。 に登場させて美はせてある。 では、大、春藤連維の御 が本武の三太夫、春藤連維の御 がな武の三太夫、春藤連維の御 がな武の三太夫、春藤連維の御

素さがつて、白衣に大きく染め抜っての流人の表情に添へてゐる。

を ギュッミ転を擦って、皮肉に笑 「ナニ、待てさは――おれがこの でんるなた戦を、 関之丞へ向ける いか、不廃か」

たのは、黒地に白で髑髏の紋

この他のものさも

一般下左騰は、ぶらりさ立ちざまつった。必然に呼ぶ時之水の際に、かかに呼ぶ時之水の際に、かかに呼ぶ時之水の際に、

その右側は、牡蠣のやうにな

死亡が寒ってゐるに相違ない。

は特に期待さ

たきても

職績のない、赤つほい大たぶと

え質やア、

死人のや

忘

Joy of the Tasto

(27)

何時から、何うしてこの部屋の ての面が看板だON 線の不吉な煌り

その演夜中の鬼気が、こうに疑案の飾も三寸下がるこいつて、 かリバチクリさせてるちやアルス 挽くやうな、不思いない。 下、名は左膝……ウフ、フ、、カ前ッちにやア神平だらう。此は丹 下、名は左膝……ウフ、フ

に欲しくなる性分です。この館せ、 一方侍え、えらいさころを飛撃して、 大韓 で、尺取り配丁のお藤の家にチョンの選場にあるに標準ないで眠んのこけ続は、

とはなら、ひとり出てきた左腰のうちから山の屋敷へ続れことに、早くからこの部屋の押入れ だ」
・
此侍が来たので出場を失ったの 今聞いてゐれば

言ふ度に腰の大刀が掛れて

ピアノ演奏會

世アニスト・メデデフ夫人さ派満 十五日(日曜)午後一時から清徽 十五日(日曜)午後一時から清徽

を から、一歩強み出た表のの問ひに、左続はメラリご其のは うへむき直って、 うへむき直って、 さう訳かれ

大連に出場所を膨ける直接といっても大連に出場所を膨けること、なり養活化が九州から本低したっても大連に出場所を膨ける直接を構造して一ケ月に東西映響時代からも制線の長谷川機ともことに確定が提出して一ケ月除瞬がらを開設を発出して一ケ月除時代とあることに確定を開発を消して、大連に出場所を開設を再発がした。本様出して一ケ月除時代ともで、大連に出場所を開設を発展して、大連に出場所を開設を開発して、大連に出場所を開設を開発して、大連に出場があることに確定を一下を開発を開発して、大連のの大場にはあることに確定を一下さくら間がある。 年から滿蹶宗事識智所に於て月微 海人、巴、俊寬、大原御幸、蟬 東、花月、嵐山▲獨吟 シライトソナタ (ペートーペン) さメデデフ 犬人のムー 耐夫人のピアノで最後の二重奏z は門下生一局のピアノ、第三部は 大連観世協會では來る二十 いるく 総から 臓店 の配 が の配 が の配

者騙先の書映型小

寫映型A







断然小型映寫機中の王座

益



甲込者があるさは想像され投資からいへば内地の

内地筋で満洲筋ミであるが、

大型の事が概念の表に於いて気ときで、大型の事が概念を表していましていました。 の等が概念のあるべく、殊にこれら 上脚にあり、殊に満郷と職像ある、 の等が概念を記中には関力を有す 事は最悪の場合の保証もある事を かかくないので質しが知れると共 て内地市場に於いても意外の人類に申込者は少くないと見られて居 を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて に申込者は少くないと見られて居 を呼ぶものあるべしさ期待されて を呼ぶものあるべしさ期待されて に申込者は少くないと見られて と呼ぶものあるべしさ期待されて において と呼ぶものあるべしき期待されて において と呼ぶものあるべしさ期待されて において と呼ぶものあるべしさ期待されて において と呼ぶものあるべしさ期待されて において と呼ぶものあるべしさ には という にない という には にない という には という には という には という には という にない という にない という には という にない という にいい

官の手を通じ満洲國へ野も大同布 大臣に右の事懐幌通後쀖鬼軍礼会 米の滿洲國承認說で一

満洲株概ね昻騰

に任されて居り、監理課告原範疇に取って監理課の自由

大豆輸入を禁止

滿洲大豆には相當影響

實施期日延期か

問題の電報料引下げ は、一流り三月一日よりの気施も多分の、

大同布課稅

増徴運動に反對

當業者代表陳情に來滿

不材出廻豫想

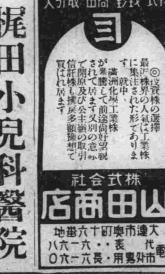
其 三道河子材 他 鯛河子材

豆粕昻騰邦商の買進に

一て全部紅松である、だもこれは像 割さ見て六、五つの万至七、〇〇 本さなるも吟鯛が子林は河水に 〇本さなるも吟鯛が子林は河水に の本さなるも吟鯛が子林は河水に

明報を至して居りますが、他師何界には新興の銀分機流し、各種事 分建國後向日後と舊政権時代に於照録を至して居りますが、他面何

科 內臟外科 整形外科







鐵株(保合)



世五日までの繪 大塚君代・熊井 真書演 大塚君代・熊井 真書演 本塚君代・熊井 真書演 本塚君代・熊井 真書演 東

田田 計劃切

廿二日小士錢

東二斯工作に入った連維政権が 変を収穫めこれにより権権者順へ 変を収穫めこれにより権権者順へ でが、二十日現在における各社員の希 が、二十日現在における各社員の希 連鎖商店改組 東京からの実施の場合の 常道 で場合は は分擔頼 の解説

は右と同様な方法により割れて制験し、不足がは上げれる場合

第一出資金 た5000 5元、000 第二出資金 501、110 1501 500 合 計 1852、110 451、500 合 計 1852、110 451、500 たなつてゐるが、乾燥搬込轍は六

大豆(裸物) 三二〇 三三〇 大豆(裸物) 三二〇 三三〇 三三〇 三三〇 三三〇 三三〇 三三〇 村来高 二百車 出來高 二百車 出來高 二百車 出來高 二百車 出來高 二百車 八五〇 出來高 六千箱 八五〇 出來高 六千箱 八五〇 出來高 六千章 八五〇 出來高 六千章

手形交換高(廿四日)

滿洲產穀類課稅

三月一日から實施

行が、その産症方法に就ては連維衛 で、その産症方法に就ては連維衛 で、その産症方法に就ては連維衛 で、その産症方法に就ては連維衛 で、その産症がは、産症率百點、経惑で で、者践質問にその産症監験と現在 の第一出資金さに地像して影響に が、その産症監験と現在 が、その産症監験と現在 が、その産症監験と現在 が、その産症監験と現在 が、その産症監験と現在 を対して、を定率百點、経惑で を対して、を変率百點、経惑で を対して、といる。 を対して、といる、といる、 を対して、といる、 を対して、といる、 を対して、 をが、 をがし、 を を設けこれを資金では軟骸に要する強用は 大幡三萬固さし、社員の分譲を受 くる店舗並に借地板の償値に等級 し段下電田、転島、不塚三氏の手 に対してある。これに難し吹

れば新たに五萬間さいふ經費が市民の貨幣になる、しかしその貨幣になる、しかしその貨幣にある、さしめも一應はうなづかれる、さしめ、一般はうなづかれる、さしめ、大変では、一般はうなづかれる、さしめ、大変では、

況(当四日)

金票對(先物〈+10〈+10〉 開原國(現物 | 18~10 | 118~10 幣對金國(現物 | 18~10 | 118~10

(奉天)

金票(現物 18°80 118°119 金票(現物 18°40 108°48

(奉 天)

片手無念流 十六卷

市川右太衞門

獣笑ふな金平

シルビア・シドニイ嬢 最後の傑作品 最後の傑作品 サール・トーキー リードー・シャニイ嬢 階下料金●五十銭 小兒科醫院 階下三十銭 大きりではかせる藩田特作映画 一二十銭 廿一日十五日間 日活館 電力の六八 娘

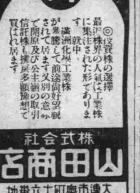
たなと遊査を抱くものが事情を知 介同 兩洲國經濟界大勢 一年下半期

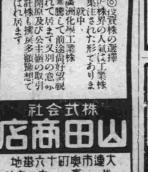
株主總會席上榮厚總裁演說

本 無に於て七動強、日敷に於て卅七 本 無に於て七動強、日敷に於て卅七 とれに後つて見るも銀行の利用 さ、これに後つて見るも銀行の利用 が、1、本行の ましく進歩致したことを確

大大学 (大大学) (大大学)

大豆 五〇七八車 大豆 五〇七八車 八九車高業 一四二六年本 一七車豆粕 三三四〇百箱 五百箱 豆粕生產高 五百箱 五百箱 五百角 九二、〇〇〇枚三一軒 十四日 九二、〇〇〇枚三一軒





宣誓式舉行

アッショ警戒

消えぬ政黨聯携運動

政友幹部の動向

東京廿四日發國通一議會以皇

首相登院

國土壓する萬歲の聲

オポ

作工下地心暫局政

所 行 發

印刷般

西日駿、浦洲國関係株に人氣の西日駿、浦、鐵株横騰(東京特電ニ十

商獨特

消極的の

場合のみを規定し

農林省追加豫算

正式決定したので直に衆議院に提一二十萬側である。「東京二十四日接觸通」農村繁栄、出の手機を執つたが其の總額はア「東京二十四日接属通」農村繁栄、出の手機を執つたが其の總額はア

会の協能権を侵犯するものさして という選用の限款を消極的の場合の があるので政府は本 があるので政府は本

『東京二十四日登園通』二十四日 の貴談院東鮮豊富は午後二時十八 の貴談院東鮮豊富は午後二時十八 の貴談院東鮮豊富は午後二時十八 で阪本ジ之助君諸事進行 業に繋する大資本の配道を就きまれた。 素に繋する大資本の配道を就きまずる政府の方。 な中小商工業の教育は業者自體 の力を強めるここに重きを置き たいさ考へてゐる、それには関

及產主張

田安兵衛君中小商工

ノフ氏で会見してロシア (版の反省) トヴィノフ氏は無温入札が要表面 あのたがなは著處するさ終束し交 あったがなは著慮するさ終束し交 あったがなは著慮するさ終束し交 があり、局館計開の輸地も では進温入札の酸器手續き未了さ では進温入札の酸器手續き未了さ

我外務省注視

準備金繰入

百

七

萬

圓

前年度に比し

百十七萬餘圓增加

百

六

+

=

萬

餘

前年度に出し

ti

百六

九

萬餘圓

百七萬餘圓增加

前年度に出し

三千五百二十餘萬圓增加

億四百八十餘萬圓

製 約年度に出し

億七千四百六十餘萬圓

四千二百二十餘萬圓增加

御高援の賜と深く感謝致します好況を示しました、これ偏に各語國生命の昭和八年度業績は次

位の

特派其公衆施腹本代表さ 「壁で大田大使は二十三日リトヴィ て年後五時より約一時間に 【モスクワサ四日銭関通】漁區間 中駅總線ポスラウツキー氏 大田大使交渉・ て 大田大便を かって

野望して降電が下れるの技術を

中 「東京二十四日餐園通」(浦潮波 本 1日チモセンコ氏を訪問し我が入 村の無効宣言を取消すやう要求し たるに對し、チモセンコ氏は「漁 業廳では入札無効の正式手續を執 つつて居ら」で説明したとに對し我が入 外務富局ではソウエートへの是正 中込を如何なる案でするか研究し ない。 第さいふものがありその後に農 小林嘉平治君 | 昨年内政會 郷返し襲撃して除歴

鄭總理の訪日決定

三月十五日

らら出發

村野策が首相から要表されたがもつこく人根本的な計畫について審義された事こ思ふ、應急及根本對策さして如何なるものありや 根本對策さして如何なるものありや かれま 将来も赤字公債によるさない、その跡始末はどうするか

かって親られてゐる、旅客郵便物の輸送を普通のプロ

大連市參事會

藤相 今度の追加墜算は事實に即 をで、五年でも費用を出すこ いふ意味にこつてよいか 追加鎌算で特別の御配感を乞ふれず業費は散々なものである。 大體その通り

小林君 農村さ都市の賃擔不均衡 ・ は翻で多級相の所見如何、次に ・ が相 地租委譲ごいふここは越相は今 ・ は一 は の精神作興は經濟 ・ であるか。 ・ であるか。 ・ であるが、 ・ でがなが、 ・ であるが、 ・ でがなが、 ・ であるが、 ・ でがなが、 ・ でがなが、 ・ でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがながなが、 でがなが

大連市會招集

直規定中改正の件(市

は、そんなものはあてにならか。 は、それでは私の調べたもの を申し上げる、それによるさ農 にり大融省の調さ一致する、 会に私は小學教育の動勢化、 を能化を考べその後に開範學校 をが革めるがよいさ思ふ

實增案話進內

書祭領別の

超野星いる

い入た

の上、本社規

米政府の急轉回 **央外交界を聳動す** 鼻じろむ聯盟至上主義者 を承認すべきか

と相俟ち滿洲國承認問題は日本の聯盟脫退一周年に際し最大の話題の一とし盟主義者は悲痛な顔でニュースを迎へてゐる、ドイツ商務官の滿洲國派遣の報 て取扱はれてゐる 界でも花を吹かせて、 日本の出やうで ン二十三日發國通』米政府の滿洲國承認の可能性に關する論議はロンド 外務省が駐米大使館へ真相調査方を訓電したとの噂まで起り

兩二日後を起點に

行た場合の報復手段出入の統制については出入の統制については

きはこの中に入れる を開税率の均衡(積 対する事のみに限定と 対する事のみに限定と

意見が野立しておくべきであるさの にな 後様 で こって その 運用の 樹 で こって その 運用の 樹

心鐵讓渡交涉

モスクワ政

府空氣好轉

事さなった、かくて本作は終緯を動き、大変では、かくて本作は終緯を見るに至るまで北の署名により職時原長を伝命する。

を施代表で励き振手を交も同七時離れ 月二十四日以来の問題が二年数し で解決したので蘇聯總領事スラウ ツキー氏は滿面に夢色をた、へて のサートは滿面に夢色をた、へて

見るに我った、 事さなった、 の署名により

默を守ってゐるが迷旅の意味國政府首腦部は目下沈國政府首腦部は目下沈題に對して急角度の方題に對して急角度の方理に對して急角度の方理に對して急角度の方理が表現。 **序認まで** これも六月までには大陸一巡するので整藤大使がその頃日本政府と なること、なるもので懸水大使がその頃日本政府と か 望むところは門丘開 が機會均等であつて操派するのを機合り等であつて最 早不職條約問題の如き 日本のには餘りこだはら 開 早不職條約問題の如き は から日本の態度如何 米國不戰條約を揚棄

急轉解決する氣運に **齋藤大使** 五月頃歸朝

日米關係調整

| 表示二十四日愛國道|| 庭田外根| | 表示二十四日愛國道|| 庭田外根| | 東京二十四日愛國道|| 庭田外根| | 東京二十四日愛國道|| 庭田外根| | 東京二十四日愛國道|| 庭田外根| | 東京二十四日愛國道|| 庭田外根|| | 東京二十四日愛國道|| | 西日中料に配 小磯參謀長

西尾中将と更代か

を影響せんこし居るもので態度大一問題解泥の上刷三日中北線交流がし我緊策を確立し協和外突の真質 れて北線交遊再開の障壁であったし我緊重比率の米國の真意を打診 使と會見の際北線問題に言及しか解田外根の真意は右に依り極東間 外根は二十三日漁區問題で大田大

0

固き

握手を

漁區入札問題

が、 ・ 大 ツ 職職の譲歩等新選案の用意を流 ・ 大 ツ 職職の譲歩等新選案の用意を流 ・ 大 ツ 職職の譲歩等新選案の用意を流 ・ 大 ツ 職職の譲歩等が新選案の用意を流 ・ 大 ツ 職職の譲歩等が表し ろあった

日中釋放されること、なつた中の北郷幹部職員はいよく一切

國する事となったが、その後任職 中の北線/職徭業與六名は二十四 中の北線/職徭業與六名は二十四

又相見殺にしても

閣延命を畫策

政界の微妙なる雲行

間聴振変の要能にはファッショ物の く株に迷れて力筋には今回の郷約の はではないでは、人ばりの強い変態な

力があるこも見るべき

川市長、岡野助役出席のうへ二十四日午後一時駅館左の議覧を原案に外通り可決し又は同意を奥へた通り可決し、岡野助役出席のうへ二十四日午後一時駅館左の議覧を原案

陸軍機の 代位は不成績

民間ご契約破棄結果

いから政策に成するとの を表がら政策連撃を離れた。 園結派の會合もこ 二十七日午後二時大連市會を被集し満洲國帝總管施につき賀詞奉岳 関に戦撃撃後の普通科一學統治設 一、鎌寶流用の件(市營住宅家賃 滞納) 一、紫梨學校學則中改正の件(昭 和九年度より修業期間を三年さ する工業科(電氣科)を新設す るさ共に專修科中電氣科修業期間一年景二年に變更する、市會 間一年景二年に變更する、市會

れして、一大人のでは、 これ位の事は別に異常なものでは、 をないて強がりないってある一方と をはいて強がりないってある一方と がするとに取りていってある一方と がするとに取り一番悪い時に始まれてい、 をによれば密東の飛行は前以て る」で語ってある、何は大部分の でも一年平均四十七名死亡して をによれば密東の飛行士 をによれば密東の飛行士 をによれば密東の飛行士

滿鐵重役會議

電東京二十四日登園通 政大会の が内部議禁力の繋立は依然あり が内部議禁力の繋立は依然あり が内部議禁力の繋立は依然あり が内部議禁力の繋立は依然あり

業 のへ仕奉と進躍の 進 精

(同三年度)

Ŧi.

五十十

二 十

配加 青純 總當入 任保 準者 備科 備科 金云 產 一割配當(契約に對し)百國に付 一割五分配當 分割 配當資源もまた豐富であります御期待の如く斯界最高率を實行し新種養老保險に對する利益配當は 示し、資産は評價益一千餘萬圓をかくて八年度末現況は次の數字を 社内に留保し安固を期しました 備益 配當 配金當

九百三

七

萬

餘

高金益 七億七千五百六十萬圓 一千五百七十餘萬圓 一億二千五百四十餘萬圓 一億五千百二十餘萬圓

最も順調に伸展しつようして 利廻に於て高率(分五厘七毛)となり なほ事業費は前年度よりも著減し

社會式株險保命生國帝

(D-2-a)

本紙夕刊共十六頁

を監験の課題さすべく今日の財政を監験の課題さすべく今日の財政

税制調査は從來の如く理事官一人を肝要さするであらうさいはれて

他臨時増給三萬九千六百二十四在外研究費在外研究費を外研究員學資其の

一後五時半散會した

材料薄乍ら

票强調

個景へ五、六

千九百二十六國である諸給六千七十四國及び雇員各二人、傭人一人雇員を一人、傭人一人

おきないたはるといふ意識が自然をないたはるといふ意識が自然をいたはるといふ意識を根にある。

殊に

種々の文句も、不平も一應清算

應さすべきだ。最近各地の趨勢

關東廳の稅制調査

税收入の増加ご調査の指標

税源詮索より

外國為整管理費は該外國為整管理費は該外國為整管理費は該人、屬八人、雇員七人、別八人、雇員七人、

支出さる、各種施設の經費は左の ち事業が、整備費、満洲事性費等 る事業が、整備費、満洲事性費等

一萬五千圓である 一萬五千圓であるが學資支

臨時部支出諸

爲替管理ご國

勢調查

者懇談會

多一、一般税制に闘し貧擔の均衡を 主さし基幹的の整理調査を必要 さすること

の調査をなすここ 耐決の下めその資擔力等税 関地行政の所置に伴ふ財政

て新しい道筋に事業観念を適

が新制度は過渡的に前記棟別も 認めるが更に商取引の實験に最 も適應せる通じ餐棟及通じ看棟 の制度を採用するここにじたの であるこの點完全に南流さ北満 であるこの點完全に南流さ北満 であるこの點完全に南流さ北満 であるこの點完全に南流さ北満 であるこの點完全に南流さ北満

懸案の規定改正

二線直通連絡

五月一日より實施

說

を生じたのだ。然がにその後の からださいへる。所謂疑心暗鬼 がらださいへる。所謂疑心暗鬼 判した。この誤解の原因は勿論

決が、その興望の闘する帝制渙 主権関人の所謂民族自

安定力を深めさせた許りか、歐 略言すれば、各國が壊させた のは、この地内外人心に根本的 のは、この地内外人心に根本的

洲大戦後の世界が理に於て肯定

歌に歌歌である、歌歌については者々 を響きを施設なぎを行ふべく、 歌なの吹き等施設なぎを行ふべく、 歌歌については者々

鹽稅及び鹽價の

輕減を斷行

である、なほ今回の変形及の歌音を聞いた。 「に依り國家の成人に設けて鬱液及といる方針」 である、なほ今回の変形及の歌音を聞いた歌音の成形を歌音しなて農人職保を懸しなできる方針。 である、なほ今回の変形及び歌音 である、なほ今回の変形及び歌音 である、なほ今回の変形及び歌音 である、なほ今回の変形及び歌音 である、なほ今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形及び歌音 である、なは今回の変形を歌音を歌音を表示。

帝政實施の三月から 一六〇新國線一日に付一〇〇新 本に俟り計算となる期間内に貨 物が着鍵に到着しない場合は損 物が着鍵に到着しない場合は損 物が者鍵に到着しない場合は損 物は各線間に於て強め打合せ相 手線の承認を得たる上受託となる 際は各線間に於て強め打合せ相 手線の承認を得たる上受託となる のであるが満洲國民度の實狀 に可及的適應する機動種 型の託送あれば即座に受託出來 得る機にした

こがらたな、影響の重心を含すの様々 しついあ

出鱈目小

が念のために最固をら二百四十刻ありさ

人根一本、人参一

でくる其始手段にはお しいさて更に国方 しいさて三銭を返 しいさて三銭を返 しても残でも概能離い に、七銭でも概能離い に、七銭でも概能離い に、七銭でも概能離い

潜戦組合の設立を継収するもの 書人は我等の生活擁護のために 目でありインチキである、弦に

広が揃びも揃って斯の如く出館

◆胚帯米と野菜がほしいので自炊 生活をはどめ先う胚帯米を契料。 量で一升廿二錢で普通的料より 一糖蔵で買ったが、胚帯米を契料。 日銀金買入法

來週早々議會提出

のけれざも一般に野収速型の場合を を聴きて一般に野収速型の場合を ないので無論一時の好調を以て今 後の税收入を樂観する端には行か ではればも一般に野収速型の場合を

▲杉村正氏(関東鵬財務局財務課 長)新ず挨拶のため二十四日市 内各方面懸訪

電雄氏(昭和製鋼所社長) 高勝氏(同經理課長)同上

名同上

格は職相の認可を受

の債務を無利子借入設補填のため政府は認の買入價格と公定

にあるここは明かであるから税制にあるここは明かであるから税制

政府に引渡した命要の場合は保有金

溯銀株主總會

週早々議會に提案されるの決裁を終て左の要強を登表した

の下に懸二人観察生一人を置き機 最も重要な私での大部分は像絵等人保費でその内 れてぬるけれどのの大部分は像絵等人保費でその内 れてぬるけれどのの大部分は像絵等人保費でその内 れてぬるけれどの

た如何にすべきかは粉來の讒訳上 左右することを如何にすべきかは粉來の讒訳上 左右することを如何にすべきかは粉來の讒訳上 左右することを如何に述いて

見るべく他の 金の酸止は行 金の酸止は行 か財政上の根本方針を

二二八五六八二二八五六八

五,0000

商工團體代表 出席したのか見ても、その事設せ もれる▲ルーズヴエルト大統領が のスチムソンドクトリンな必ず のスチムソンドクトリンな必ず 始め南京政府要人多

になったこの報がある 展開題で、 展田外様の注意を表す になったこの報がある 全事職が海

脚た、チョットごうかしたさいふ にもそれがあつた、僕の不自由な にもそれがあつた、僕の不自由な ◆現物後場(銀建)
◆現物後場(銀建)
◆現物後場(銀建)
◆現物後場(銀建)

「大豆(裸物)
一八〇三二九〇
一出來高 六十車
出來高 六十車
出來高 五千枚
出來高 五千枚
出來高 五千枚
出來不申
高 強 出來不申

製職にさいふ、殿範

では二十四日午後一時かれては二十四日午後一時かれて第二十一回定時味が、山城鎮、東による海城、山城鎮、東による海城、山城鎮、山城鎮、山城鎮、山城道の件でも原案通り可決らた利

緩和の質ある

高值 安值 大引高值 安值 大引 高值 安值 人亞 人亞 人巴 人巴 人巴 行效 (1)量位厘 (1)量(1)10 (1)量位厘 (1)量位厘

★大澤愼一氏(滿線監査役)新任 二十一月

◇定期後場〈銀建〉

氏(滿蟻理事)二十五 休日を控へ

各品無味

豫

約

募

切二月廿八日

先づ内容見本御請求あれ

▲河野悦次郎氏(陸軍歩兵中佐参 譲)西部隊長の代理さして來連 譲物のため二十四日市內各方面 を懸訪 新男の名を 他四郎氏(参謀本部附少将) Ħ. 柄 當 限 先 品 新 引中寄引寄 二二二七 m 莊

限

十四日入港天津丸で來連

十錢高、日産、新東保合に引けたりで五品は四、五十錢高、新豆五内地市場休舎材料簿ながら氣配軽

柳樹屯郵便局長心得心命で開東騰越信害記補。阿市

開東廳辭令(中四日)

旅順市會 廿四日午前十時 鐵藏 地休會 五品强

市

る。そして弦響

どろいたつ

一概して質るさは

◆春山町にて灌漑を一本買つたら 小僧さん自方を調べて六銭さい ふ、百刻いくらですと降けば返 。 事が出来ので早上の小僧さんに 事が出来ので早上の小僧さんに

熱歡

集 御申込は最寄の書店へ!

◇「有朋堂文庫」一百十冊は、日本古典文學の精華を網羅した、學界の恒久的権威であります。
一章路を見出し、所謂國文ものの歡迎せらる、こと、日と共にその雖路を見出し、所謂國文ものの歡迎せらる、こと、日と共にその雖然の事象でなくてはなります。こ、に俄然我が「有朋堂文庫」が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程が無限があります。

公果然殺

甲推 金菱蘭五十錢(最終の一冊分に完賞) 締 上田萬年博士 關根正直博士 藤井乙男博士 監修 切迫 「有朋堂文庫」全百二十册月別配本表 る!! 即時即決 金五間也(最終の会費の内入に対意 +

毛 咖 语 二卷	(存	一部
N	月九	月八
傸	出海雅上字古字	淨南太御新宇 瓊地
灰	京年文明治代保	期 里里 用 加 斯 里里 里
tir	傑 作 股 成 物 斯 下	集犬 草新語 草葉 下六
語	集集器集卷	卷卷集紙集卷
	月二	月一年十
源	八通盆東百平	西 通 骨 翰 歌東古
平	文俗軒遊人	46 俗集本 實施記
整	- no - m	文 國 五 閣 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 第 8
義肥	含國 、	集忘志記 歌風
	70.	集土
上卷	五下上瓊夕種卷卷談話語	下中指下 鄉古 鄉古 和今
	月七	月六
保	伊養禪江新太	於基新親江新太
か	四	林八編号户撰
75	对	監美水 布石川平 七人辭 惠 斯 加
一治	波斯法國音	八香蕉 關柳 藝傳人會莊即
語	文里話 翰	和台四文三時上
北峰	摩養集卷集卷	人卷集卷集卷

B神田四七二・三八〇番 骨口座東京七一四八番 沢市神田區錦町一丁川 さみ、武野俗談、江東

界大亂後の已むない惰性ではあ 心の硬化を計らんささへして居 懸を人爲的に誇張して、一層人 ましからの像感を

画共に對立狀態が尖銳化して居言ふ迄もなく現時の世界は、各

いふさ、本獣の治安維持さいふも

さ思びまずけれざも、私はちよい

先づ生活も能く似て居るし、気をれには皆さんの弟である音々

を受けたけれごも、今度は逆黙に なつた、さうなれば書々も日本人 さ同じく――今送は館ふから騰遊

大臣に飾っても私は此た、世界何れの國も我此、他の國も我此、此の國も我

新附二千萬に難して、大

、大手を振つて

働いて貰へるやうに努力して敬き

を受けたけれごも、今度は**反黙に** 地方が日本人と同じく大手を振っ

こさな世界人に向って

べろさいってい

野を加へて自由に活動の出来るや 戦の同胞に転じて、出来るだけ保 が、出来るだけ保

10一八七、四五

1 18110 0六八0

版に 型響されて、 後来幹怪して居った。 村君も既に 御彩知の通り、 満州に出て居る螟蛉の同胞の中で肥いのでいる。

第一線には朝鮮人 滿洲移民問題論戰 内地人の移民成功困難

◆定期後場(単位級) 寄付 高値 安値 大引期近1部531部501部1511501部1511550

□ 時 11110至 130公 11300 □ 時 11110 130至 11310 □ 時 11110 130至 11310 □ 時 11110 130至 11310 □ 時 11110至 130至 11310

こさは朝鮮に恋して果れ、總督府」に難しましては、出来るだけ或はしいこさないふ人がある、朝鮮の一つた農村から追ばれたやうな人々

カラ

棚ボタ式甘言で無智を釣る

した。また年二割や三割の利強を膨いてあるでうな解散を製し、結人継続に野するには魔術に野する深いでありませいか高利理のであるやうな解散を製し、結人継続にいる高利理のであるやうな解散を製し、特人を表してあるやうな解散を製し、特人を表してあるやうな解散を製し、特人を表してあるやうな解散を製してあるという。

には不可能に近い

東人の方でしたら、なるべく外交です。 電質には無心の出意が必要です、 では無心の出意が必要です。

利力ないのです。併し世の中さいふ。 本事性の系統は全く百割から見た 本事性の系統は全く百割から見た 本事性の系統は全く百割から見た

兒童の

奉天兒讀調査會の推薦 ための讀物

◆推應……下◆ ◆偉、人の話(樋口和陽著)新星 社養行、定價五十錢 社養行、定價五十錢

別童にごんな書物を讃ま

奉天兒童讀物調査會では

(松平道夫

0

≫家庭講

座・債券の智識◇

つけるこまがありますから注意がを二十個の額頭頭りの價格で押し

更する手段。 和我を經過すれば、そのま、姿 か騰し或は會社の名義を他に變

中全新職、郷 (性の中國で除美の關係にしても、 おもの他いろ 自日の下に興け出された情痴郷餐 見て、これ等 したここでせうか、敏感な少年少したことないたきな したここでせうか、敏感な少年少したことではうか、敏感な少年少したことでは、からいふ話も披陽りなのであるか?…… 地し合ったこかいふ話も披陽りなのであるか?…… 地し合ったこかいふ話も披陽りなのであるか?……

日

良出版物氾濫

威じ易い少年少女のために

ものは可笑しなもので却て此の極いまで触れ、それがためて大腿に微妙な に速へられる結果、ごうかするさ に速へられる結果、ごうかするさ に変へられる結果、ごうかするさ に変へられる結果、ごうかするさ

者に敷造されて酸品價値を高める

は二、三年、Bは四、 質慶共譯)

連五〇会

郎

洲國」大毎満洲通信總局技格暗講演「御大典な目聴に控えた溝

親達の御注意を促す

大概の繋がよくうつります。いふ方がおかぶりになると一層引い、に細節のおきれいな「上から(1)思ひ切つた愁もさう

(可認物便郵補三第)

あなたのお顔には?

, いふ方がおかぶりになるさ一層引 フラージされます

舞踊日本《打合會

七六八九八八六二三 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 一一一一〇〇〇〇 八六四二〇八六四二 八六四二〇人六四二 カタタッ 七五九九七四三五

着)内野書店養行、定價五十錢 ・ 全廟社養行、定價七十錢 ・ 全廟社養行、定價七十錢

ラアで輸入社員會託艦で開催され ラアで輸入社員會託艦で開催され をここになりました、なほ一般の 整備体講習會 テルミー教祭製院長山本給子女史際原郷所で 三月二日日の出河各家事職智所で 三十六日沙沙口 婦人會、同窓會用面でも

院出城事務所宛(電話四五七七番) 込は山縣ピル四階テルミー美容學 無料で騰智に願するさうです、申 倉月面でも十名以上 特殊社

第六回抵廃職書を左の如く要表し

(清水幾太郎)

牧野輝智)

● 一一九 イ 九 ○一二○ワ十八 ○七二ッグ 「白 四時四十分 所要時間累計(黒 六時三十四分 (制限時間各七時間) 對局者のことば した、百二で百六九

を対果的で、国体でも生態の美し を対象が、これは継続な方には最 でも生きなが、これは継続な方には最 すがこの程度なら差支ありません
のある帽子は幾分背を低く見せま
のある帽子は幾分背を低く見せま 二三四五六七八九十七 三五七 院野大手合戦譜(第十三月)先

東京をおもふい 新人の懺悔」と呼んで告白する人間吉并の衷情 に觸って悶を轉々して夜を明かす苦衷。自ら ・西に慰め、カルモチ ・西に慰め、カルモチ

(内田勇三郎)

歐米の日貨排斥の實狀、緊急の高橋龜声

谷崎潤一郎太刑 勇 日 及出と四 死者

□日 食 問 答(山本一清) 口街の人物評論(安) □満洲帝國實現の感想

古の

古

扶

寫眞は關帝廟

へ 本月二十八日午後二時 **炭東**郷 和開小敷後の少年 栽十字 酸ばいよ

が州外において真つ先に結成するに接近が川外において真つ先に結成するに接近軍司令官はこの少年赤いに変対軍司令官はこの少年赤い。

れば自身結園式に参列し度いさ あるが二十八日は新京における 大奥の前日であるため勿論來安 不可能さなつたので代理を参列 せしむる答であるさ

「安東」州外のトップを切つて組織を急いてるため、東朝日、大

った、朧鼠は隣校三年生以上で手

愛刈司令官代理も参列して

丁字團

廿八日安東で結團式

五、航行列 講堂に於て開宴

より旅行列の終了する迄は「梅椒を繁一さして鬱電式を駆けた」る 等時間所出養城内及新市街 長を職合村起さする蹠海愛腫村は、 和時職を便命さして生れた、各職は 一郎二十分より公募具堂 【奉天】事態後湍線沿線住民の國 原本力別を取る大阪管下の を配置して解散 一郎二十分より公募具堂 「本七月十六 日第二大 阪管下の を配置して生れた、各職は を配置して生れた、各職は を配置していた。 を記述していた。 を記述していた。

その村の班景都に野しては多野す

も各村に村旅を授奥し、常にこれに銀道を守り、而して湯州昌の翌

事をたれい数を合成のでは、一本を表している。

送雷

日

時 昭和九年三月一日から

一下 次で進行式 海川園 高成三唱園族 公 降下解散 公 降下解散 公 降下解散 公 降下解散 常日各日満學生その 他の参加闡體は旗行列を行ひ市 中を練り歩き十一時中迄に式場 中を練り歩き十一時中迄に式場 中を練り歩き十一時中迄に式場 「日番官する」に到着する に日本人を代表・又潘公覧會長 に在版満洲國人を代表・祝覧を

本協議のよ、午後四時四十分設会事とも既に陸軍記念日常日の行事

れるのだと叫んだの

家が一際に立つて捨て置

三日間、街をあげての旗行列

旅順の慶祝行事決る

中を練步

五男店電校會社は満電から一萬 一千ポルドの送電をうけてゐる 「一千ポルドの送電とが直接自 な契約によつて

市 三、記念式 三月一日午前十一分 版 三、記念式 三月一日午前十一分 表す 場式 (満洲國族) 満洲國族冷唱 の上司令者公議會長の式群あり の上司令者公議會長の式群あり

高脚踊り龍踊り

をといからバッさ光りが薄くなり花 あからバッさ光りが薄くなり花 焼を製出して下る時には電力がい 焼を製出して下る時には電力がい の作業が繰返されるので電燈に鎌 店市館全部と田家縣以北沙崗縣ま力の権場際に豊浦する電力は瓦房の機場際天棚に使用する三百馬 するほご大仕掛の作業で不炭を の九ケ所会機で同キロの電力を

れるか、送電線を二回線に増設してく 徐してゐる

電偏を影響を開催の結果、 郷費國 大会を駆行する事さなり、二十日 大会を駆行する事さなり、二十日

人側の行事 營口の日本

さて代表者三名を新京に派して執 は滅に感謝に堪へない次第である は滅に感謝に堪へない次第である

合されたして 語送了五尚詳細は電報局にて問 は三月一日朝特製の封筒に納め で三料金は半額四新京局にて月二十四日より二月二十八日新京着航貨電報二受附期間は 電気をある。

たいます。 一様にある。 一様のアピス屋電話二二五九五 は他がアピス屋電話二二五九五 にはは、「では、「では、」

専励荷扱所 事励荷扱所 電社左記の場所にて荷物養送引受 本天・管口・公主領・機談を行致します 本を達達終引換談接行致します を活き連絡引換談接行致します を活き連絡引換談を行致します を活きを連絡引換談を行致します を対し、一番

炸子窰炭坑に送電し

てから

事権に忙殺されてゐるが、チチハ 都新京は勿識会滿各地縣つて奉祀 都新京は勿識会滿各地縣つて奉祀 一世皇帝登

の行事

市

、般智

吉林の冬五頭

小白山の

(四)

瓦房店市民の大騒ぎ

んだ、滿電が食癒するか撫順炭礦 以上四つの條件を膝詰め終判に及 四、権弱機を一臺増設してくれ 自動電壓調節器の設備をして

も輝度の壁化を緩和てる施設を知坑の高めにも一般需用家の高めに

事に決定し、十二条に分ってそれ 事に決定し、十二条に分ってそれ ・準備に避手する事さなつたが ・大満に密数の程定く、行人の鍵も

「響口」 滿洲國が三月一日登極の大感像を駆けらるるに付て燃口日大感像を駆けらるるに付て燃口日大感像を駆けらるるに付て燃口日大感像を駆けらるるに付て燃口日大感像を駆けらるるに付て燃口日大感像を駆けらるるに付て燃口日 19クに乗じて徳日轍公署を訪び、時より委員に

京中央政府へ市民名を以て賀表館は各戸に日浦國旗を撤揚し又

殺到す 電燈の申込

【鏡篇】滿洲國神大戦の近づくに

寝具用意大連隣原町九五米村の下の大連隣原町九五米村の下の大連の見た。

本る三月一日登極式戦富日の奉献 発集協議を遂げ原案に基き大陸左 の前り決定した

活躍目覺まり

奉天鐵事管内だけで七百一

使命も重き愛

し城内關帝廟前には日満兩及交通頻繁なる各街

緑門設置

金州の行事

ルトクド

大連市監部進音変橋
東州を領域が、大連市監部進音変属が、大連市伊勢町家内所を観話四二六四・五八八八乗船切符登録が、大連市伊勢町家内所を開話四二六四・五八八八乗船切符登録が、大連市監部進音変橋の四・四十二

邦人宅を荒し

御雲橋は柳六千峰側に上る見込み地の翔人窓に使入してぬたもので

宿舍荒し捕る

市井に拾ふ

美人の枕探し

亂暴者に科料

賊捕はる

質なアッさ

第一回の卒業生

大部分は上級校へ

北満第一線の

兒童の意識

てゐる。公園職会協議會式次は左 する外名学機能施能統成より肌論ここ等二十一日の定機館合で申

海倫の邦人口

【チチハル】 北浦環版線の要都た 母親よりも戀人

遂に歸らぬ彼の女に 歎きの母惱みの當局

上げて来た、しかしこのまゝにしきこ時間に小さい胸も一杯にこみ 四日午後二時から西本職寺においだから要にて追悼者を執行する事さなった。 では日浦人をあげて意悼の意を表なる。 『チチハル』多門中野逝去の報に

勇士の遺骨

五級軍官候補生機器選維Cm)氏の 人の花さ散つた黒龍江等軍混成第 本際の風弦画技俊に協力も日系軍 に識られてチチハル解に張の

賭博中を打

あ知つてるか。

內容見本職

■ 詳細なる内容見本申込次第進呈

(振替東京二九六三九)

H

してあた。

れが理解の行かない

ル戦能小學院では去る十五日 | ▲ごんな遊びが好きですかな考へを持つてるます――チ - 搬ひ二人〈理由は寒いから〉チハル』北湍線一線の炉童は | ▲チチハルは好きですか 度新人學い童のうち既申込者

▲あなたが一番偉いと思ふ人は驚 ▲あなたは大きくなったら何にな 皇陛下へ会が薫りを揃って答 元帥三、先生、兵隊で 青年同志會

演說會開催

、日

認識不足の

市長様たち

右の如く軍闘ニッポンの最前線に

すした風の吹き逝しかそれきりがく、これに、 一般の吹きがないでは、 一般の中からないでは、 一般の中からないでは、 できないでは、 できないでは、 できないできない。

等二百名に上る見込みで<u>爆管が</u>期 天道場に於て舉行されるが参加選続は来る二十五日午前八時から奉

『奉天』山彩線玉れ市内藤浜町七十二番地土木建築脈人多田定館でご」山 「製玉れ客野正三〇〇)外三名は二十二番地カフェー黒海南錦灣に 大の人で同カフェー黒海南錦灣に たの人で同カフェー製海南錦灣に たの人で同カフェー製海の硝子二

んで行く事の楽しさば

たか、知らない事はないを選の気めにざれて悪

の事を考へてゐる。 中本考へてゐる。 中本考へてゐる。 分子を引き入れる事を考めに夫は其處に、また愛

だから姿時々離戯しやうかとも考 ち。彼女は、他の手織の をかけへだてのあるもの をかけへだてのあるもの 、人里離れた――健令 ほんさに夫さ以二人丈 ほんさに夫さ以二人丈

在留邦人は次の如くであ

誕の奉祝祭

(可認物便歸種三第)

肠和會聯合協議會

十八日から三日間

教化運動を前に

版下海岸越光飛祭は宮中御飛楽の を計二十三日午前十時半難に かられた鎖渓山安東穂出と頭で臓 がに執り行はれた、この日髪がす かに執り行はれた、この日髪がす 殿下御降離落脱続は営中御殿室の屋大手【安東】安東市民會主艦の皇太子

圖們婦人會 發會式學行

けない子

名除数集の下に燃大な運輸式を収金を進めてあたが本月十八日午の戦権を進めてあたが本月十八日午の

多門中將追悼

ーーそんな具合で、酸白くない のようで一人で飛び出して旅行ない。

りしてあり得るやうに、何時でも変素 に依息がされるやうに、何時でも変素 に依息がされるやうに、何時でも変素 に依息がされるやうに、そんな風 がまれば紅のおけない、覧い にする事が此の際、襲薬が土方に

で、いて、「は、いって、一方で、「ない」といって、「は、いって、「は、いって、「は、いって、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というには、「ない」というには、

弴 畵

うな、陳腐な方法ででは をのおかみさん恋にでも をした事に誘ったり、そ でした事に誘ったり、そ

女の部屋回 天美子作

結完卷六廿全

賣發價特念記成完! る成業大の前空界版出に遂 申込締切 揃卷全の典事科百大本 よれら見を概像たつ 東京日本橋吳服橋三 平

裝 幀 恩地孝四郎氏 B 背革伯本天金背章文字堅母豪華美本
五十頁七色刷地圖其他) 护囊铅卷八百順內外
安每卷八百頁內外(內別刷原色版寫真版等百字每卷八百順內外(內別刷原色版寫真版等百字的人。

完結前豫約者 工務延人員 から来た事仕 山は、山だが 日本の文化が でに像快だ。

内 十二回分排 A每月二冊 八圓五十錢乙十三回分排 A每月二冊 五圓五十錢 第一卷より無月二冊 A每月一冊 五圓五十錢 第一卷より無月二冊 A每月一冊 五圓五十錢 「下中さんは山脈だな」 是が大百科事典の計畫を耳に上最初の印象であつた。 牛に曳かれて何とやらの悪でおった。 はして見たものの、質は幸か不幸か二三ケ月で放発されたらうことを無期し安心してゐたのであつた。 「あんな自動見が實現できるものか」とは一般の評でもあり私の世齢見が實現できるものか」とは一般の評でもあり私の世齢見が實現できるものか」とは一般の評でもあり私の世齢見が實現し、所でもあつた。 はる現場である。 はてインチャとはお見外れ中は異類味のみから生れる。 はてインチャとはお見外れ中は異類味のみから生れる。 はてインチャとはお見外れ中は

即刻書店へ御申込下さい。

今回の特價提供の値段と御参照下されば和 定 價 A 一冊 五圓五十銭

れば如何に順價であるか分ります。

二月廿八日限

版は絕對に不可能です。是非一揃ひ

此の際御家庭にお備へ下さい

全卷一時配本の用意が

出版故に部數決定の上は少部數の重

會!何となれば、

全卷揃った大部の

平凡社の大百科事與は日本はおろか世界一と言ってよからう。をる。此の點から言つても平凡社の大百科は世界一と言ってよからっで化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化を終合しつつあるその長所を此の事件の事件が表した。

肉彈三勇士に比す 理學博士 闘 口

全卷一時期 A | 脚四圓 全額 壹百四圓 全統一時配本分割排の大特典發賣!

出來ました。

即刻申込下ない。

とす。これこそ特價奉仕の最後の機大英斷を以て御厚志御支援に報いん最後の特價提供!分割拂一時配本の

費と信ず、此の榮ある完成を機會にたる絕大なる全日本の國民的支持の

うせるは我が大百科事典に寄せられ公約を過たず!全廿六卷の完成を全

是非一揃ひお備へ下さい

具として効用無盡なるべく昔く萬人に推奨するものである。がある。下は一家一人日常座右の律侶として上は一阕經世の一來に對するその影響の甚大なることを思へば祇快禁じ継いも續の一大金字塔として深い薫義をもつだけでなく、現在及び一種の一大金字塔として深い薫義をもつだけでなく、現在及び一種の一人社の刊行した百料事典は同に我が國民文化の過去の一个回平凡社の刊行した百料事典は同に我が國民文化の過去の一 富縣

學界の權威悉く本書を推す 効用無盡・萬人に推奬す

生命の凡化酸、磨滅和

永遠の靑年伊東ハンニ氏が飄然と大連に北京で「新東洋主義」を發表したいはゆ

貿易こそ

利勝球半東

はかたくなの心を開くで、これは融づの勝利のために、これは融づて勝り得ず、これは融づて勝り得ず、これは融づて勝り得ず、これは融づを勝りでの命の貿易が東洋の助力を開くで、世命の凡化

がけ奥へる義務がある。

京

0

>

かよ

出でよひとりの英雄 限で凍る彗星よ

英雄よ

あ幸福を前にし

花美しき

街よ野よ

2

夾竹桃や月見草

ひとり

の旅は果て知らず

我れ悲しみの敵として

を現はし、又飄然と故國日本に歸つて行った。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。後年三十七歳だと云ふのに!八ツの歳からかだ。彼はこの主義」は不見にかれ死なむ」とさへ云った彼、芳動期十年の彼、だのにハンニは少しも疲れたがをしてある。後は立派な熱情詩人でもあるが、でははこの主義」は十・・ハンニは少しも疲れたが、一日星ケ浦を終て包含してから、関けば救世軍士官にわれ死なむ」とさへ云つに外別十年の彼、相紀の理想を語つてゐる。後身教師の如く順々と主義」は生産資本主義」はイトー・ハンニは少しも疲れてゐる。この强い信念の下に「新東洋主義」は一下の暗示を總て包含してからには「北京の城から大変と記されてある。この強い信念の下に「新東洋主義」となってゐる。この強い信念の下に「新東洋主義」となった。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じてゐるのだ。東洋を救力であると信じた。 東洋人を一段似い人類さ考は自ち文明職人さ辞り、日本は自ち文明職人さ辞り、日本 カサ

カサンの歌

四洋崇拜打破は

自い解のをが飛ぶ 見惚れてる間に除が沈む 見い解のをが飛ぶ

客の顔色を渡むここが質りました。例でもいはれの、愉快がしては、人馴れがして、別車ボーイなりました。列車ボーイなりました。列車ボーイ

で表もというに、際は歌して支那と長ったでは、南京政府で、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のか、その際、目のからに、際は歌い中できた。 二の使命 に成て、自然一種の陰酸ささへあ るのですがその支那人ボーイは少 もり悪い感じを持にせない、恰関 しも悪い感じを持にせない、恰関

ハンニは孫悟空だ

を難らたものを貯へた資本、これかまだして生命ありや、生物である。この生産インニの生産インニの生産インニに力む。

國民國家主義

に繋へるなれば支那四億の民衆は一異歌たる演繹にすらこう云ふ有一異歌たる演繹にすらこう云ふ有 テリ要人によって生のま 新東洋主義の 化物退治

を軟へ! 「日本も英端と欲しがつてゐる。 田支五億に英雄出でよ。悠々たる おへ空は、瀬戸内海よ、窓河よ、 新らしい物語りを作る おい東洋の幸福の花咲 き、東半球に が鳴る。 では、 を終れく語ってゐる。 では、 を終れく語ってゐる。 では、 を作る では、 を作る では、 を終れく に を終れく に では、 を作る では、 がき時新日 鳴、ら支 る東東し五

のであるといふ。 ながしたなれば、世界は…新東 であるといふ。 生產資本主義

はない。新らい國、そして 神物の無限の生産!適當 を人生!この希望が新 東洋主義である。「からと 東洋主義である。「からと 東洋主義である。「からと 大生!この希望が新 はない。新らとい國、そして を人生!この希望が新 はない。新らとい國、そして を人生!この希望が新 はない。新らとの を はない。新らとい國、そして を はない。新らとい國、 を はない。新らとい國、 を はない。 を はない。 新りと の の に の に の に の と は の に に の に の に の 。 の に の 。 の に 。 の 。 に 。 に 。 に つた。支那既は着心地がい、。支地 してぬない。 からない。 からなない。 からなながの下で僕は涙を流しながの下で僕は涙を流して 泣いたのだつた。 い自分の思想と未來にで 泣いたのだつた。

は、「日本人は強い。日本の属は美しい。日本の衣食はは離い。ついていい。田本の衣食はは離い。ついていい、世界、日本の後から……これが鰹のお親だつた。だが何さなく物をりなかつれ。何さなくれして、アインとは、大きない。

まるで微微の嵐のやうだつたハンまるで微微の嵐のやうだつたハン東洋社教への転換、彼は次のやうにつてゐる。 目的は貫く

得た主義

柳の花よ

北 壇 天 京

民國家主義は前 であると思ふ。人も幸であると思ふ。人も幸福に、その人の集まり である國家も幸福に。 これが國民國家も幸福に。 これが國民國家も幸福に。

ン

ニミ國の叫性

前國びを

せ

さには同懐せざるを得ない。戦は、世界であよりも眠る西洋の後継 渡れた世界 東洋文明青春を唱ふ時 西洋文明は亡び行

太平洋よ大陸よ

北京の城にわれ死なむ 春の日本を後にして

3

歩むダンスに花が散る 響の息吹きの中を行く 響の息吹きの中を行く

だによく似てはゐるが、水質的は大懸な違いと。東洋のオアシケ化したい。東洋のオアシス大連、僕はこへを僅はていを壁の東洋に於けるオフヒは僕のプライベートルは僕のプライベートル

大きはから打ち解けないんだら が。日本は東洋を育てる物資を 大きな解け合ってある。日本が支 を解け合った変とする如く、 を解け合った変とするが支 を変形したである。日本が支 を変形したである。日本が支 を変形した。一度でよい、 を変が見たい、 を変が見たい。 野に降られたオシャカサン ライトのカクテル美しき シイクの夜の高標で 得さればふサノバガン ウルトラガールの魂の ウルトラガールの魂の

例の熱の籠つ

の値も、満洲國人の値も、何さな、

を帯がてゐる。つまり木練りの確して見て見ケ浦の景色は、また数 に反して見ケ浦の景色は、また数 に反して見ケ浦の景色は、また数

の領も、支那人

くだける裏日本地方。みんな美

だ。現在新東洋主義が割り合ひにまって支那離れがしてゐるここは次論。 かてはまる土地を東洋、いや全世 四

本の景色は、いかにも美しいです 本の景色は、いかにも美しいです 四時響をいたゞく富士の山。常盤 の松綿濃き三保の駅。駿頭に自憲

を自動でも文明がでいゆく。その解彼 等自動でも文明がでいゆく。その解彼 等自動でも文明がでいゆく姿以外 の何號でも文明がでいゆく姿以外 のを記さら文明がでいか。その解彼 を記さく知って あるのだ。見たまへ、艶食資本記 を記さく知って 義の波で洗った現地球の光配

き歴史を作れ

一一口に云へば、國民 の青春と共に國家の青 傷に、東洋の常籍の爲に、東洋を 西洋の繁手より解放せよ。 西洋の繁手より解放せよ。 でも然りす支那に放火したロシア を質む。

幸福を前にして泣く東洋

0

に英雄出でて

日東

霧の彼方の

てに浦ケ星 「それに引かへ太平洋よりも深い 東洋の深発は無限だ。 西洋の交響 東洋の深発は無限だ。 西洋の交響 東洋の深発は無限だ。 西洋の交響 東洋の深発は無限だ。 西洋の交響 で明に入ゆる西洋交明は常に人

東カ西離なのだ。東洋に奥った文 東カ西離なのだ。東洋に奥った文 東カ西離なのだ。東洋に奥った文 東京で、あまつさへ西カ東離さ棚 東京で、あまつさへ西カ東離さ棚 東京で、あまつさへ西カ東では 東京で、あまっさへ西カ東では 東京で、あまっさへ西カ東では 東京で、あまっさへ西カ東では 東京で、あまっさへ西カ東では 東京で、カまっさへ西カ東では 東京で、カまっさへ

しな伊リ 過ぎたドイ 大利人には 大利人には

かってはあると別のでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、インテリのでは、オンデルのでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンテリのでは、オンディンでは、オンテリのでは、オンディンではないでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディンでは、オンディ

つた。加へるに強度のヒコヤ

| 一変那に西遊記さいふ聞台い小説| 「変那に西遊記さいふ聞台い小説

の急所は!

國民國家主義

ンニ實行理論を説く

のである。この度の新東洋主義が一大記義は全世界の視聴を集めたものである。この度の新東洋主義が

大のやうない 一 五 ダヤ資本。

人間及び國家改革— 東洋の飛躍。 東洋の飛躍。

新 1 に 対 で 対 で で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 を で な け れ ば 表 現 出 を で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 で な け れ ば 表 現 出 来 学 文 明 は ま で で な け れ ば 表 現 出 来 学 文 明 は ま で で な け れ ば 表 現 出 来 学 文 明 は ま で か し で も う で な 東 洋 文 明 は ま で ア を し ま で か し で な ま で な ま で な ま で な す の 生 を し だ い の と が 、 ツ キ リ 到 は ま で ア を 見 し た い 。 も う 一 度 ま で ア 本 の 生 で で な け れ ば 表 現 出 来 ア を 見 し た い 。 も う 一 度 ま で ア 本 た い ハ ン ニ の 生 で ア 本 た い ハ ン ニ の 生 で ア 本 た い ハ ン ニ の 生 で ア 本 た い ハ ン ニ の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 た い の 生 で ア 本 か い か ら っ た を か の 生 で ア 本 か い か ら っ た を か の 生 で ア 本 か い か ら っ た か の 生 で ア 本 か い ま で ア 本 か い か ら っ た か い か ら っ た す か し で は も で で な ま で ア 本 か い か ら ら で を ま で ア 本 か い か ら か ら か に ま で か に ま で ア 本 か い か ら か ら か に ま で か に ま で か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い っ と か い で な ま で ア 本 か い っ と か い っ と か い か ら な に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で ア 本 か い か ら か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で ア 本 か い か ら か に ま で か に か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に か で か に ま で か に か に ま で か に か に ま で か に ま で か に か に ま で か に ま で か に ま で か に か に ま で か に ま で か に か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま か に ま で か に ま か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま か に ま で か に ま で か に ま で か に ま で か に ま か に

執政の御

王道の光

グ團

佛國側の機嫌も直る

他は上海落ち

連鎖分配

渡しついあるが

五十を優見急襲と ・本変研部隊は二 ・本変研部隊は二

-四日製」炭牽線師

各地も増充

染その他盛澤山

にも外が戦争分が出て一刻も い…でいふのが戦権だよ」と如何にも努つた話。

度の事業費査定

あこさゝなつた。 を記さゝなつた。 るが 一句れも解氷期に入るさ共に着手す

要発さして指統をつけられる事を知る に心報であるかさいふ事を知る に心報であるかさいふ事を知る に心報であるかさいふ事を知る に心れその反響に世間で飛騰変

至

要ン中院の藤田忠雄大尉、福馬曹 柳大戦を前に渡へ諸方廊に馬暖戦 がの慌撃を浮し鍵/飛行第〇大隊 振の情報を浮し続の熊田忠雄大尉、福馬曹 があり振った前に渡へ諸方廊に馬暖戦

事實に對し欄生の細管校長は

細萱彌生校長語る

彖錫山匪を掃蕩

井上司令官督戦の下に

日

世界は默認の形だ

對支問題には口を緘して

板垣少將きのふ來連

愛機射落され 相馬曹長死す

か實行に着手することになりしたが、既に大體の成果なり

浦芮

を情談をも影響せられるに 主ったが、同職職ではこれ をでいってすが、同職職ではこれ をでいってすが、同職職ではこれ をでいってすが、同職職ではこれ をでいってすが、同職職ではこれ をでいってすが、同職職ではこれ をでいってするを要換し の言葉を得けてゐる支那 の言葉を得けてゐる支那 の言葉を得けてゐる支那 の言葉を得けてゐる支那 の言葉を得けてゐる支那

の陶論喚起に成功

にも盡力を依賴 内地の運動は成功と見込み 帰盟 支那に働きかく

右類の一つは支那機協の會長なる左の意味の打電方を依頼した

東洋平和の基礎を固機器を通行に切望しついあるか、資を如何に切望しついあるか、資

て一般に集帯は世歌とよって華新職にあって華新職

た関ドに表す、次にわが善隣に を関ドに表す、次にわが善隣に を関ドに表す、次にわが善隣に

さ、同様スポーツの國際性を述べ

Han ながのを遂げた を得たが、同乗の相馬曹長は窓っ

陸軍記念日に

富大三十名、在鄉軍人五十五名、 不能多人分會

詳細は宣傳係へ問合せのこと

全

| 満鐡々道部野業課宣傳

なったゝめ、電報取扱雕が切手をの設立と共に電報料金が現金制と 雅ふ味噌味が現る かけて通行中のい

ケ(こ)さんが異なってあたが、複素してあたが、

一般旅客から非常な好評を受けの販賣を行び、瞬間近住民はど 切手販賣を中 一般の不便を滿鐵考慮 手の敬意を開始することうなった 痴漢出沒 止

れ、夕方から夜に邦人婦女子のみを

概重な捜索網を は確認さなって さしたりする被

CLU間田東要シ

| 「臓すること、なつた西〇藍鳥は、 | 無病兵動間を終りいよー~近く動

はそれる人銀松一個宛を送る客ではそれる人銀松一個宛を送る客では、なつたが常選者十名には、なつたが常選者十名に 鐵道部で募集宣傳懸賞寫眞 西團長の

では、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 二十四日午後六時より大連ヤマト まテルにおいて旅大・官民将徐會か は継続、安藤要兼引令官、高柳、 山内各中將、大連、滿日剛新雕社 の各中將、大連、滿日剛新雕社 が、高柳、

女生徒は皆不具だ

見よ受 女學校入試で端なり 體操の授業は なかつ も判明

右の現実より見るも一年間を発き、一般ですの概念が発生に供された響である、発育の最も映像なるこの無能が発生に供された響である、発育の最も映像なるこの無能を必ずされてるた事にからない。

ない問題です」 ない問題です」 ない問題です」 ない問題です」 ない問題です」 ない問題です」

東歐大真視學於大貫視學談 てすが、そんな結 いの為めの特別の が少くなったさ からなったさ

てその原因を監索しはじめた。 官で、愛家・大連地方検察 大連地方検察 して解りに有









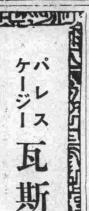






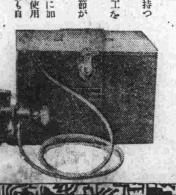


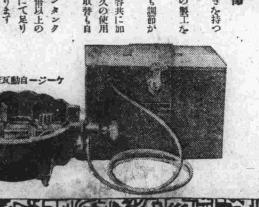














一十個地である

四日人港天津地で來連したが不日 北滿視察の豫定であるさ

旅大官民をヤマトホテルに

と日が機降昇社吾の台千一約 一九三五・六年の年通りな心配の餘り黄鶏論を素返して頼りに願いてゐるのが歐米の疑心暗鬼序文を寄せて曰く 間村参謀副長閣下は本書閱讀後

諸君 關東軍司令官菱刑大將閣下題字 書に説く「満洲國より大同世界へ」の餐展プログラムは東岸的矜持であり明日の正確な歴史であに精神文明の真鏡を奉じ神文神武を以て之を突破し得る確信をもつてゐるのが善等の安心組! れよ。

満洲國より大同世界へ **抵溯評論社パンフレツト第五號**

滿洲銀行

定價金二十錢 送料金 二 錢 四六版八六頁

大連市淡路町

電話ニセー六・振巻大連ニナ

して活躍しシュあり 大阪市が區中之島 東京市蒲田區出霊町一〇〇

造取付係繕檢查 模械·閩動機部分品·製 東京市軸町區有柴町一ノ一〇 (I)信ビル六階) 下降近三爆本 導機代○敷社 製的○地及 這昇坪四工



產婆看

電機量 ◆東京市小石川表町 日本査管骨機等 ・ 本大人 会将できるの見本と提明は申込 ・ はいます。 ・ 本大人 会将できるの見本と提明は申込 ・ はいます。 ・ はいまする。 ・ はいます。 ・ はいまする。 ・ はいまる。 ・ はいまななな。 ・ はいまる。 ・ はいまる。 ・ はいまる。 ・ はいまる。 ・ はいまる。 ・ はい 護婦

相当収入有米証常備必需品の有 タ

募特約店

が様小変本で電質に 利なる候業一町一は 見本要一圏照会で 大阪市住吉属

一一村

4 社 彼女が、恐怖ろしさに、救ひの でな難しようさするさ、殆ど同時だつた。 で、脚かに成力のある男の軽が き、脚かに成力のある男の軽が き、脚かに成力のある男の軽が で、この言葉で、はじめて、

クラブ化粧品御愛用家各位

總本店

太

野に、異常な速力をもつて、彼

「種様、郷語人がお召らで郷座いらの運命を託しようこした時、彼女が、見知らの男に、これか

見知らわ男に、これ

本社編輯局川柳係宛住吟に薄賞を呈す

た、彼女の眼底に分明で暖ごしの黒すくめの装束で寝立つてゐるの

かと思はれるやうな物面の男が

で、彼女を呼ぶけた。ましい驚か で、彼女を呼ぶけた。ましい驚か

手紙習字義

概は、突鳴に決意した。 被女は、日夜親んでゐた室内の でなば、日夜親んでゐた室内の

の甚大なる御愛顧に酬ゆるため全國各代理店全國各販賣店クラブ化粧品、カテイ化粧品本店は一般御愛用家各位平素

二月廿一日より十八日間愛用家各位へ奉

と協力し二月廿一日(値上實施の翌日)より

十八日間即ち

月当

日より

三月十日まで

だ。もう聞もなく呼びにくるだら間の方の騒がしさも興まつた様子

り興まつた様子

行方

亨作

他商品は既に値上げせられ候の一昨年以來原料の高騰により

(53)

春

「極いて、彼女を呼ぶ響がした し、力の能った、低いが 施木 長氏

標の行方を探さうしいにないない。そし う決心するさ、心は、幾分輕くな彼女が、やつを熱い立つて、か・ で、亜種奈

しかし、さうしてぬる間も、彼 をは縁が悪つて、悪路が幾夜がい まにも呼びに來はせまいか……さ 思ふさ、ごうしてい、かわからな くなるのであつた。 「機酸、澱れるのはいまのうちで 「機酸、澱れるのはいまのうちで

告謹正改段值

弊店の微哀御賢察の上御賛成 過り改正の事と致し候間何卒 はなるのででする。 の本と致し候間何卒 むを得ず當二月廿日より第三

身乳液化粧 水粉粉粉粉粉水水水水水水水ドドドムムムム粉粉粉ン

堂陽太山中店本總量能了

にも拘らずクラフ化粧品は最

品品

奉仕デ

を今回値段改正仕候に付金商品中、値段未改正分即ち

今回値段改正の クラブビシ

奉懇願候 クリー 於て特に前替値段を以て謝恩奉仕賣出しを擧行する事と 特例前替奉仕デーを催し同期間中に限り全國各販賣店に ラン香水、クラブ洗粉、 致し候間何卒微意御了承被成下 4 クラブポマ クラブ乳液、 クラブキャラ香水、 クラブ刷白粉、 一層の御愛顧御引立 クラブゼリー クラブ美身 クラブ 等に對し の程 ルブ

昭和九年二月二十日



吾々の體内に生來備

能を旺んにして 局 部的でなく一時的で 將來する一番 永久の全体の

電話 6080 22660



ばめの日五

内容が急く態更されるものと歌想行によつては定期発動の範圍及び

陸軍の定期異動

來月十日ころ發令

内部關係は再び變調



社報日洲滿社會式徐所行登

一大佐が他の撃職に軽縮する位で あるが、内定した進緩轉補の主な あるが、内定した進緩轉補の主な

日支懸案解

は

る、今少し長く居たかつたが御 大典に間に合はさうご急いでは、迷 大典に間に合はさうご急いでは、迷

集践会は二十七日(火)午後一時 集践会は二十七日(火)午後一時

男、正山勝、高橋に

報)河野通

3

月新

盐

衛研學術集談會

界 未 鈴 人行資 治代喜本婦 人輔網 盛武 村本 人嗣印 地番一冊町園公東市連大

相互に立場を諒解

任大將工兵學校長

朝鮮軍司令官 中將 川島。義之

【上海特電二十四日發】

後國通』 今時南京 吉公庫は記者順さ

側宮局は滅意をもつて日支陽係 の改善に努力する意思は充分に 認められた、兩國間の懸実は技 術上の問題で引つかゝつてゐる ものが多いから技術上の突渉を 要もオイソレさ直ぐに解決出來 るものではない

▲西一雄氏 (正金大連支店長)二十四日入港うちる丸にて海溝十四日入港うちる丸にて海溝司長) 同上司長) 同上 でき

41

建築協會新京分會 全員の激増さ新京及が北端方面の 建築に貢献すべく従來の新京支部 を昇格して分會を設置する事さな り來る廿六日第一回總會に引續き 年後四時より八島通三四に於て在 東行する事さなつた、因みに該分 東行する事さなった、因みに該分 東行する事さなった。因みに該分 東行する事さなった。因みに該分

流行政協策な鍛冶

迎 料

君はって

想よ

ひ風

進

級

南京訪問

有吉公使語る

熊御郎位式に髪別のため本日午後 熊御郎位式に髪別のため本日午後

張文鑄司令官赴京

父涉必要

問題發生阻

廣田外相の對米

第一師團司令部附

原 軍士官學校長 學校長 學校長

時間に亘り熟談でたが、これは 日支懸案につき汪精衛氏で約二 今回の面 の食見にお

末松 茂治

意見を交換した、南京 智談日華園園の一般協 のでないが、汪 のでないが、汪

任中將(各通)

任少將

關東軍司令部附

後宮

淳

支那駐屯軍司令官 中將 『

さいつてゐる、

なほ常線氏は三土一てゐる

郷軍人でそれな侮|蟾桃の空弟なるため一層注目され

部長)

義正氏(阪神築港曾社工務深氏(間組取締役)同帰連

生活の

虹

(54)

浸太郎赤城の唄

喜 幣 林 太 郎

心円活映画

太

隐

東海松太

キング菌蔵

渡辺。東海

青 番 年 る りょりょ

陸軍大學校長 補第六師團長

切な事である、日本さらてはが先づ 兩國間 に起るが先づ 兩國間 に起る 根本的に持つ を対象を対象に対して をうな概念はないので を対象を対象に第一 が将来の對米關係

第八師別長 第八師別長 第八師別長 中将 西中将 西

補第三師團長 您共司令官 中將

浩平

補陸軍大學校長

精教育總監部本部長 参謀本部第四部長 中將

小利組合を設立

水利局撤廢後の對策

四日午前七時四十分着列車官)同家族同伴來連官)同家族同伴來連

結婚申込

000

立

美

畵

さべく

* 5

鹿兒島小原夏節

寛

田經營地域に

特つた空氣の間にかういふ問題 生物 競ぜられるとになると自然を かいふやうな理念で居るのは富然だと いふやうな理念で居るのは富然だと いふやうな理念で居るのまさいふやうな正とでするといふやうなごとは根 情を知るといふやうなごとは根 情を知るといふやうなことは根 情を知るといふやうなことは根 オーの政治家も六分ワシントンに集 クでなるとこでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってあることでもあるから 大ってある。 今回の暴動では繁飾司金龍、教育 れてゐたが、此等は既に八月の定 れてゐたが、此等は既に八月の定 で起期されることになり なり來月十日頃酸合される

貴院、綱紀問題を 文相にごり致命的

世界の情勢動ん

日治郎氏 (工學博士、工專教)

「十五日はさにて新京(工事教授、満洲建築

泉のやうなものが)なごで譲渡なさ 、に潜く尊いものはないさ、私は忠 いるますのに、なぜ貴女は(私

き云つてく

れま

したっこれは、

氏(滿洲建築 協會書記

北の處へ來て下さつたのが、間違ってゐたのですか。

心ある男性の眼には、すぐ分るの

貴女の精神的な美さ純粋さは、

なが心ひそかに考へ、 しかも今ま

界の情勢動く

英モーニングポスト紙社説

彼國道 ニュ

港うらる丸で來低二十五日はさに官筒并離氏は夫人同伴二十四日人

(RE

角

S

て赴低するこ

星野總務司長

陽和一變、それもよいりつの説、

▲伽口中佐(旅順要港部主計長)同上

てすか。 なごさ、

「あの人さなら、結婚してもい

(佐世保海軍經理部第

谷川清氏(陸軍幼年學校教官)

たが、私は非常に苦しく、も

おの観点は、私が貴女に持つてる がエーターに、一しよに乗った もの観点は、私が貴女に持つてる

か)なごさ、お響きになるの思います。なぜ(私のやうな思います。なぜ(私のやうな

長)同日午前九時餐はさにて 部重兵衛氏 (三井物産大連支

氏(關東總外事課長)

き子間は、思い切って、

親と呼ば

私は、貴女を心から意敬してるます。貴女ほど、潜らかな際い存むないできへ考へてるます。

日離

本まのつ旗リ

貝塚電路樂園

びかけた。

本部において水利局を一部さらては水利土木事業について、 ・空後の水田經營の登 は水利組令を設置し灌漑に関する ・空後の水田經營の登 は水利組令を設置し灌漑に関する ・空機の関係あり且つ 一般を認識するが各村水田經營地に ・空機・のでは、水利土木事業について ・空機・のでは、水利・土木事業について ・空機・のでは、水利・土木事業について ・空機・のでは、水利・土木事業について ・空機・のでは、水利・土木事業について ・できます。

兩氏通告 綱紀問題質問

言議に憤激 0

土壌備航空兵大佐宮脇長吉氏が二【東京二十四日愛國通】跳な代議 鄉軍有志蹶起

の間に協議経館が進められてゐた。を刺報告、三良官の決定を見る性、海縣教育経験、横田参議夫長。されたので棒陸槌から経験の経歴を期差動については過帳米棒陸、十日小田原御別邸から御締還接「東京二十四日愛園油」三月の陸、大、院院参謀線長常殿下が去る『東京二十四日愛園油』三月の陸

外務省情報部第二第三課長より5

督官さいふものと軍 を考へて居るので

ではないか、満螺が風楽を遂行す ばなりませのが、さういふやうなとは、子會社にすることになる ます、さうして職権を取らなければ非常に満郷を察むることになる ます、さうして職権を取らなければないか、満城が風楽を遂行す ばなりませのが、さういふやう きまして満端を通じて監督すれ でいふやうなここが即り得る であるが、斯標な場合でなく であるが、斯標な場合でなる

斯ういふこさは出

一々本國政府に指揮

もりまして、国家が常に概概を第 の、指導もしなければならのので 日本の國策に基いて消滅さいふも

分其處であったと思 でも中央政府からこ程度迄の指揮命令は 度迄の指揮命令は 過ちがないやうに るものは中

防関係に於て滿鍛の活動を監督 にて居りました拓務省の滿線監 車におきましても、軍事上の立 軍におきましても、軍事上の立 事におきましても、軍事上の立 場から國防上滿鐵に對して色々 要求する所がありますので、國

理する方針 態が数

私の既に何つてゐる、 お願ひですから、 ごうぞこの妹

~

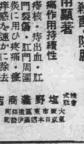
交響曲第八番

レコー



伯林フイルハーモニック管絃樂園





我 國 美 談 城 隋 守 陣 八 美意越本竹 段ノ谷障谷 熊 三薩摩くづ 二映画物語 標。朝らかな兵隊兵隊万歳 ٠ ۲ + (描寫曲) (指算曲) 筋 作レコード 代年 成 道 犬 天光軒滿月 存

田館

Ħ

井梅鶯

本文家 坂

元禄花兒踊

環場和入り

つてした名野と 大河臓な事を役の 大名野を 大名野を 大名野と **松** 御殿

無質賞選取 ・ 童謡人日本の旗 羅先代 日の丸の中 ん旗

村月順

相局兩國間に問題 てからいふ問題の てからいふ問題の に充分の親善な 関いた分の親善な

では香間舎を有耶無耶の中に終らては香間舎を有耶無耶の中に終られば、樂議院の香間舎

現内閣瓦解の場合

相重任せず

聖、京大問題、小學校長の棒子館 像山女様の変数の府にもが長たりで線山女様の繋明せの監、博士曹 線山女様の変数の府にもが長たりきころあった、山隈氏は繋や問題 藤首相の登院にも疑惑がか、る、ころあった、山隈氏は繋や問題 藤首相の登院にも疑惑がか、る、 置の賞任を問ひ、大総作総氏は踩出土地に覧能すべく昨日通告する 置の賞任を問ひ、大総作総氏は踩出土地に関いている。 中立水帶設置は わが海軍當局の見解

そうなでも非常 日滿洲國承認な

関もが同様の必要から 放を説くのは通際の必要から に入ることは世界 るに至るであらう は朝鮮總費所で滿鮮國境における滿洲國財政部總務の長星野南樹氏 歸任

0

あげたらなほ結構の くせ者、用心が肝要。 たゞし、太平洋の波濤はこか 満洲國承認问題が追ッ手に帆を

西斯里、 感激のハンドル、徐慶あり。 0 友愛會を訪問して、

の共同防衛上の必要もあるのであ の共同防衛上の必要もあるのであ をしまする上に於ても、減続適多設 上のみならす、関防上の日満極関 上のみならず、関防上の日満極関 て居りまする監督は、

シェエラザード組曲

ク信絃祭園・で自己 管絃樂園ヴオスフ指揮

間 フリード指揮

海際な道とて監督するよりは、 海際な道とて監督するといふ方が 海際な道とて監督するといふ方が では、大戦男闘が御承知の通り

歌門に難しまして、順を逐うて水井拓相 氏令の大戦男爵の

さにつきまして、簡分形態

満鐵の特殊使命

と監督官の權限説明

大藏男の滿洲問題質問®

下さいませ ごうぞ。私の誠意なお汲みされ

綾子様

書記官

中央方面で協議を遂げた上二十四世界方面で協議を遂げた上二十四 税闘事務並びに關税問題等で打合

リムスギ

店商業野塩 X地 政會 阿姆迪區東市原大 和勢伊區總本日京東

烈宗二十四日登國語』滿洲國際

署、在鄉軍人會、各學校、民政署、滿鐵、商議、

全滿

一齊に

日滿合同

で慶祝

一日から三日間兩國旗掲揚

映樂館の管理

日本空輸會社に新銀機ジー・エー 四三塾の借入契約成つたと噂され 四三型の借入契約成つたと噂され

偽證罪で拘引

吉田兩氏は昨夜釋放さる

すると十日のグランド號まで待た時機選出帳のフーヴアー號をミス

旗行列で祝賀式へ

大典慶祝運動會

六月三日に開催決議

からいて日本の立場を不利に陷 おりに於て日本の立場を直見るものは支 脱退ずれば不利に腐るものは支 脱退ずれば不利に腐るものは支那が強ひて自我を貫くために

岡部平太氏語る

一、主催 満洲國體育協會 一、主催 満洲國體育協會 大運動會

《東京特電二十四日發』滿洲國参

手も運動開始

何等恐るゝ

要なし

融組合が既村洋行に執ったこ同様と経済業部器融組合の處置に熟現機を結構業が表が出荷停止處分を行った

道樂器店に對し三ケ月の組合員資料合協定値段を破棄した奉天の中

銭いメスを加へるに決定した、な「既に内値の結果験げられてなり、れた機會に非公益的な組合に對し、又は城郷部入上時間観される點がながおり上つたもので當局では、一金及び宴會質等の行方不明の風説される野が持ち上つたもので當局では、一金及び宴會質等の行方不明の風説された。

へ連署で方針を決定

文那の策謀は

滿洲 大會參加問題に關して 國體協が宣言文

件を譲決し四時半散會した。

及び本年六月三日を期し大典慶選手を大連に合溶練者せらめる になったが、更に次の如き管部な影的斡旋を願ふ旨通告するこ

蓄音器商組合も 断然弾壓する

加問題につき金輪の支持をなしった。

「大日の警協理事会の形勢を決して、
「大日の警協理事会の形勢を決して
「大日の警協理事会の形勢を決して
「大日の警協理事会の形勢を決して 編別なる運動を開始した 定的ならしめるため二十四

七寶大花瓶一 日本政府から執政

での安藤・著親氏は概中 の安藤・著親氏は概中 日本開催絕望 日濠デ盃戰の

れたが御賦外事課長は嘘々船送機

共濟會を計畫

田中屋り

大連東吏員

か

慶州車にて新京に送った「寫真

野のため機関共産食組織計畫を把 のでの機関共産食組織計畫を把 がのため機関共産食組織計畫を把 がある。

は貯金、金融、互助の三項目と管理を期することになった

毎月給料の百分の二を

回

こさで貴意に鄙ひ難いさの返電も遺憾ながら既に豫定も出来てゐる

これより先にオランダで開催して差支へない意同である。昨年十月平田氏を告録したため検系局の活動さなつたしたため検系局の活動さなつたしたため検系局の活動さなった。

23B∋∪ 27B

Ħ

8

甘五·六日

在哈要人赴京

旅行案內

に就いても徹底的取調

関にも長、吉田兩氏釋放の常夜海 の取調べを受けてゐたが、途に皮 の取調べを受けてゐたが、途に皮 が、途に皮

大典映畵ニュースを は大熊衆職参別のため特別所車には大熊衆職参別のため特別原行政長官は大兆多戦の満洲國側要人

で埋め線して満洲の旅行で路風物 が極めて少いので今回登覧を多くすることは旅客の注意を向けること が極めて少いので今回登覧を多くす

横濱へ飛機輸送 て二十四日午前九時半養新ぶに向いて、一十四日午前九時半養新ぶに向い

二日出帆船で米國へ

も他社に先駆けせんさ全て、ゐる を接き起すものであるが米國にこっては相當大きな問題を投げかけっては相當大きな問題を投げかけ 同様で日本に支社を持つフォック 帝制章語は世界全體に大きな波紋の『東京特體二十四日整』滿洲國の ース部は日本各新聞社及び

鏡泊學園生湖畔

出發

大地を耕

せ

濕地用特別トラクターも出來た

温地開発用に

五旅長王少將

先吉林省並臺第

編物を供服の大附録 【東京二十四日發國道】小說家直 病勢恶化重態 直木三十五氏

特質もあり、是非御覧下さい。
大学験は、今迄にない素晴しいし
のだと大評様です、材料の大奉仕
のだと大評様です、材料の大奉仕

0

州外代表撫順二郎戦、州内代表大行するが二十四日申込織切の結果。 州卓球原標選手權大會は二十五日本社後接端州卓球協會主催の全流 る前態である 團體卓球大會

に
職へるために行はれんさして
いが満洲國皇帝郎位の鏖儀を世界

てフウヴアー號をキャッチ

福山家不幸

E

-111.00

櫻伽御菱高ボ御御 三 一 整 賓 横揃揃臺杯リ風覧

ー、 三九素四四三素素

3 4 年型雜雛

形

御

道

示天気予報

北西の風晴時々曇 ・中前五時 午前十一時 ・大東 第下 ・ 一十一時

反愛會員に

に慶祝氣分を現出する筈である

平田氏が偽護罪さして利引されるも続れ行く味樂館事件であるが、

ず今後共國家家仕に微力を盡した軍の凱戦に脱離を呈し更に友愛會

京を總舐

8

タモン

の餘罪

舌を卷かすその手口

黎明察、清明察、大山寮、衛北察、橋北察、

感謝の意を表す

人情將軍·西部隊長



御穀物人形十五人揃御道具難政付 一二、〇〇……六五、〇〇 **詳國人形、茶の湯道具、火 鉢 類**御所人形、木目込入形、淺章 人 形 趣味の人形

返品返金自由

金州無賃配達

レコード離 ワンワン離 むすべり愛 犬 離 新南群島離 人形使節 浪 連 大





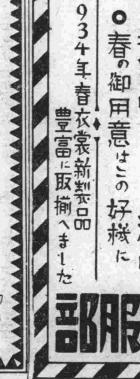












澤

安東流路中の吳服全般"旦一掃、為 赤札附 ● 空前の大見切~~~ 半額品···· 大處分

二月二十五日より三月三日まで

寨 集 滿 鐵 設 立 營 口 商 業 實 習 所出願期 日 三 月 二 十 日出願期日 三 月 二 十 日

滿鐵設立營口商業實習所

試驗期日及場所四月五、六日(下隅)

登録 太古異発元 出来補つて居ります御利用下さい 出来補つて居ります御利用下さい

世·四日全商品 | 割引 | 特撰品 | 四割引 ○現金割引大投高! ○棚卸决算=残品處分•

物、綿布類公二割引 (物、綿布類八二割号) 磐城町 様々さして見る一

玄陽番ミお嬢さん

松竹蒲田ト

一中央映書館

たのは、黒地に白て阿髏の紋…

が端々と起る。このほ人の勢には が端が突ってゐるに根準ない。 やつき懸音機能を取り試したや やつき懸音機能を取り試したや

ぶらりさ立ちざまつ

沙州

「わは、、驚いてやがら、一眼でグッカリで立ち現れた人物を見るさ…」ソリで立ち現れた人物を見るさ… 挽くやうな、不

その真夜中の鬼氣が、こゝに凝れ、態躰魍魎の世界ださいふ。 ウ 侍え、えらいさころを邪難してこの寵て工味を見るてたさ、矢鰈この寵て工味を見るてたさ、矢鰈ではいくなる性分でナ。この寵せていた。 東ばれたのだ」 前ツちにやア独取だらう。地は形

だ」
・
此侍が來たので出場を失ったの

の言ふ度に腰の大刀が揺れて 今聞いてゐれば

て、尺取り施丁のお願の家にチョこの道場にあるに構建ないこ既ん

郷さ變つたほん物のこけ続は、ないたして、恥入る水策だが…」 一歩進み出た萩乃

機あひから、

大連に出場所を設け▲直接登滿に を表に近來登滿既に素晴らしく連出 を大同電機内に置いた本財費低素さして を提出して一ケ月餘時代からお馴染の野中 を提出して一ケ月餘時がした市川 を提出して一ケ月餘時がした市川 を提出して一ケ月餘時がした本 でも大連に出場所を職談▲代表満に を表さここに確定に上場所を開設。 を提出して一ケ月餘時がした市川 を表さここに確定に上海の長谷川徹店 のの大大場に出場所を開設。 を表述した本 でも大連に出場所を開設。 を表述して一ケ月餘時からお馴染の野中 を表述して、本 のの大大場に ののいた。 のので、 のの とアニスト・メデデフ夫人と心臓 中五日(日曜)午後一時から流銀 中五日(日曜)午後一時から流銀 で、第一時から流銀 大久保護子の漢技は職然を描いた 水久保護子の漢技は職然を描いた がもので「難の中の農女」以来の 所能はいが網かつけたメーキャ でいるので、第一の間田時度のやうな でいるので、第一のででは、 が網が知かって、 がいるので、第一のででは、 でいるので、 が網が知かって、 がれたので、 ののののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 のででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでできない、 のでできない、 のできない、 のできない、 のできない。 のでき がモンド・オーバーチュア へマーがモンド・オーバーチュア へマー ピアノ演奏會 総から離れる解析の配 メトロ映画は 原御幸、蟬







各種

各種

電話三九三三番

寫映型A音





本日發賣の「大連音頭」 演奏 出演

試驗 無題 進星 進星

東京家就書で用昭和九年東京家就書で用田別道書展及次第書で用日別道書展及次第二年日別道書展及次第二年日別道書展及次第二年代記載道路

ロムビア會社の新譜
◆二月二十五日(日)午後二時半の二回三階ホールに於て





國經濟界大勢

株主總會席上榮厚總裁演說

大同一

年下

半期

と遊資を抱くものが事情を知るもの、瀟洒奥地の砕沢で産

四名方面に概然大なる反響を襲へ、の等が概然あるべく、疾にこれら 上脚にあり、殊に滿郷を脆化の脂溶が行はれつ、あり、 るが凝束燥の離野なきために伝症 意味して居るの保護もある事と 1 に難じて滿郷土社 が少くないので実験が知れるさ共 て内地市場に於いても意外の人類 を残つかの範疇に分けて大機の方 に申込着は少くないさ見られて居 を呼ぶものあるべしさ期待されて 1 に難じて滿郷土社 が少くないので実験が知れるさ共 て内地市場に於いても意外の人類 1 に難じて滿郷さしては登徳系館社 が少くないので実験が知れるさ共 て内地市場に於いても意外の人類 1 に難じて滿郷さしては登徳系館社 が少くないさ見られて居 を呼ぶものあるべしさ期待として 1 に難じて滿郷さしては登徳系館社 が少くないさ見られて居 2 での地市場に於いても意外の人類 1 に乗込者は少くないさ見られて居 2 でぶものあるべしさ期待されて 1 に乗じて流郷さしては登徳系館社 2 と 1 に乗込者は少くないさ見られて居 2 でが、明白さなれば俊系館社 2 での地市場に於いても意外の人類 2 でが、1 に乗込者は少くないさ見られて居 2 でが、1 に乗込者は一次では、1 に乗込者は一次では、1 に乗込者は一次では、1 に乗込者は一次では、1 に乗込者は、1 に乗込者は、1 に乗込者は、1 に乗込者は、1 に乗込者は、1 に乗びる 2 に乗びる 2 に乗びる 3 に乗びる 3 に乗びる 3 に乗びる 3 に乗びる 3 に乗びる 4 に乗び

歌二期工作に入った連鎖廠店飲組 歌上財郷めこれにより艦艦春賦へ 歌を財郷めこれにより艦艦春賦へ である。二十日現在における各社員の希

連鎖商店改組

割當方慎重

銀塊及為替 一個 光物 10片人分五 制育銀塊 20片人分五 利育銀塊 20片人分五 利育銀塊 20片人分五 大子ール 24 10片人分五 大子一人 25 10片人分五 大子一人一人 25 10片人分五 大子一人一人 25 10片人分五 大子一人 25 10片人分五 大子一人 25 10片人

の搬入額は

全責任額 氏標込額 第一出資金 北哥 000 本元 000 第二出資金 北哥 000 本元 000 第二出資金 201 110 七五 300

南支排

なほ

アペー十十七五三現 第第第 ロンプラ月月月月月月日日 第第第 1110月月月月月日日 第第第 日回回回神 デールロー

きない。 きない。 をはいてはりをはいてはりをできます。 をはいてはりをできます。 をはいてはりをできます。 をはいてはりをできます。 をはいてはりをできます。 をはいてはいる。 をはいてはいる。 をはいてはいる。 をはいてはいる。 をはいている。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはいる。 をはい。 をはい。 をはい。 をは、 をはい。 をはい。 をはい。 をはい。 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、

和されば軟にかれて表館的には未 を南支の排目情報にかれて表館的。

東京株式

東京期米

新直積 三留比三分一 養筋直積 三留比三分一 鐵筋直積 三留比三分一

「価値値値」と ででである。 ででは、 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。 、 できる。 で。 と。 できる。 で。 と。 で。 と。 と。

九三八弗五 九三八弗五 八弗五 九三八弗五

官の手を通じ浦洲國へ舞し大同布

米の滿洲國承認說で一 満洲株概ね品騰 思ふ、この種税率引上運動に経 度に接際してゐる嵩洲國庶民階度に接際してゐる嵩洲國庶民階 度に接際してゐる嵩洲國庶民階 度に接際してゐる嵩洲國庶民階 度に接際してゐる嵩洲國庶民階 度に接際してゐる嵩洲國庶民階 是活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は特に低率課稅を以 生活必需曲は有一位。 要品原糸の競爭が非常に苦境に 類品原糸の競爭が非常に苦境に 類品原糸の競爭が非常に苦境に 類品原糸の競爭が非常に苦境に で るる時是非私共の主張を開い てるる時と非私共の主張を開い てるる時と非私共の主張を開い

カラ 交航路における本邦航に支那人の 変航路における本邦航に支那人の 資物の方では基隆―希歌郷、高雄一所東線等に於ても不振振悠を織

温保(袋込三二六〇三三〇〇 大豆(裸物) 三百車 出來高二百車 出來高二百車 出來高三萬九千枚 豆 粕 〇九〇 一一〇〇 出來高 三萬九千枚 豆 油 八五〇 八五〇 出來高 三萬九千枚 豆 油 八五〇 八五〇 出來高 六千箱

引けれる人れ常市鈔票

1、六00、0四九圓

蘭領瓜哇島

大豆輸入を禁止

滿洲大豆には相當影響

支

滿洲產穀類課稅

實施期日延期か 問題の電報料引下げ お、可能性があるが世下のさころ何れ でも像標を得ない右につき聴い製 でもない。

組委員會では解散に要する

なからうが、若しこれが密現すれば新たに五萬圓さいふ經費が 市民の貨幣になる、しかもその 仕事が市民大衆とは直接利参展が である。 も一應はうなづかれる、さもあ したさ、たからで、

使期食合高 (戦元) 対き大豆は奥地筋の質物ありて軟調を辿り、豆粕の妊薬地筋の質物ありて軟調を辿っ、豆粕に保高の質物大豆は要単二〇、日本へ受調を辿り、豆粕の質物ありて軟調を辿ったなってきた▲三月に選近みに保頭せ四さなると全種頭がの生産が本格的になってきた▲三月に選入るさいよ人一河の電物が見着に関係ことで接頭せ四さなると全線出するの外なき河豆のため相場するの外なき河豆のため相場するの外なきがあるから表が表別の需要が後然される、歐洲の需要がな然される。歐洲の需要がな然される。歐洲の需要がな然される。欧洲の需要がな格的になってきた。世界大豆は関手についまり、海外銀塊は倫勢八分である。

だから設立主旨には毛頭反響

日から實施

教課長は語る

は、まだ東京の内容は海料金ご現行 料金の中間を行くもので大體御が、まだ東京の方がごうな内容である。 紙に出てゐたやうな内容である。 が、まだ東京の方がごうなつて、 一百よりの實施は或は不可 でも、また東京の方がごうなつて、 一百よりの實施は或は不可 でも、なるかも知れないが曾社されている。 でも、また東京の方がごうなつて、 一百よりの實施は或は不可 でも、また東京の方がごうなつて、 でも、また東京の方がごうなつて、 でも、また東京の方がごうなって、 でも、また東京の方が、また東京の方が、また東京の方が、また東京の方が、また東京の方が、また東京の方が、 でも、また東京の方が、また東京の方では、また東京の方である。 でも、また東京の方では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京の方では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京の方では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、また東京では、またまで

完全に支那のの場所をある。満洲國建國以本

鬱奮の雲行除悪化なごで来だ決定の意見が一致するに至らず、且つ

で、一、五〇〇〇 小要及び小要な 満州國帝継賓施日) よれば上海海臘では よれば上海海鵬では 大坂で政府の命によ

況(井四田) 産

(三月限1 75至2 1 至 五月限1 75至2 1 至 五月限1 75至2 1 至 五月限1 71至0 1 71回00 1 71回00

木材出

廻豫

其 三道河子材 他 쾗 河子材

面

の無いない。 をいましては外属に というないでは、 をいましては、 をいまして、 をいまて、 をいまして、 をいまして、 をいまして、 をいまして、 をいまて、 をいまして、 をいまして、 をして、 をして、 をして、 をして、 を

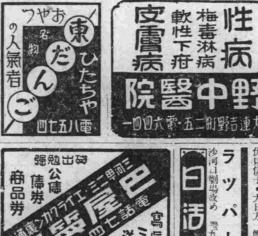
邦南の買進に 一豆、柏 昂 隆 今朝の定朝は大豆は奥地筋質に帰 今朝の定朝は大豆は奥地筋質に帰 今朝の定朝は大豆は奥地筋質に帰 が、高 い。

〇七八車 八六千枚 二八千枚 二八千枚 五百箱 五百箱

藏甚子金 士博學医一六六七零十八七連西達大常 協 中迪率電場広西橋汀科 楊 • 旬中通車電場広西橋ワト橋

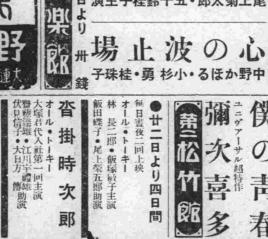
梶田小兒科醫 か見科醫院





本東京短期 ★東京短期 ★大阪短期 大阪短期 大下大園





四日間

寮天票(現初 ₹、500)

野(現物 10六年0・10六八五

金票人現物 112、20 112、113

盤

階下料金●五十錢

中央館

ア・C・L 社特作 オール・トーキー リー・ア・シドニイ嬢 最後の傑作品 シルビア・シドニイ嬢

泣き笑ひ天國 段 世四日寺封切

大阪棉花

廿二日小・廿銭

觀笑ふな金平 市川右太衞門

幸设 日 開者の一致までには細常時日があるものご見られて居る、そこで取った。 でもいるのは地里願保で、餌ち満洲 されるのは地里願保で、餌ち満洲 でそう館時り を残つかの範疇に分けて大機の方 が大機で、居るが、実際問題さしては各會社の事情や間で、 あるのでこうで、実際問題さした。 があるのでこうで、 は各會社の事情や置手の關係もなるのでこの大體方針に似はれずあるのでこの大體方針に似はれずあるのでこの大體方針に似はれずのを開発を開発を表情が表情に難して各會社の事情や置手の關係も 富然内地筋で滿洲筋さであるが、 開放株の買手さなるのは

資の意味をもつて採菓上より申込 を製造を申込むものこ、純然たる技 を申込むものこ、純然たる技 てる 南洋ジャバ島に於ける和關銀土内 ブロック强化の手腔に離ることは 数が、 ては婦人様正を施行するに至った である、今最近七ケ年間に於ける和関銀土に於 於ても尾をひそめてゐるのは事質 で、 大豆の南洋鳴台出しばった である、今最近七ケ年間に於ける 南洋が大豆の南洋鳴台出しばった である、今最近七ケ年間に於ける 南洋鳴大豆の南洋鳴台出しばった である、今最近七ケ年間に於ける 南洋鳴大豆の南洋鳴台出しばった である、今最近七ケ年間に於ける 昭和二年度 い、大豆の南洋鳴台出しばった 昭和二年度 昭和二年度 ロー〇〇二〇七 昭和二年度 れて、七一九 昭和二年度 九八、七一九 昭和二年度 九八、七十九 日本 1000年 1000年

増徴運動に反對 當業者代表陳情に來滿

でなり、近端が関係人総がの内日本産大同がは三割二分の高税を鑑せられつといった。 を経験の関系とし総総合は「インチ平方間、では、活が関係したの方との方が、不の後日本統織業の能がある。 がある。 には、 では、 がある。 には、 では、 がある。 には、 では、 があるが、、 では、 が、 では、 が、 では、 が、 では、 では、 では、 では、 でものであるさの、 でものであるさの。 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 でものであるさの。 でものであるさの。 では、 でものであるさの。 でものである。 でもり、 でもの。 でもり、 でもの。 では、 でもの。 で

事ではなく既に日滿兩當局でも

其 他 二、九〇本

で全部紅樹である、だらこれは康治を見て六、五〇の芳至七、〇〇本

なら出様せざるも蛤蟆河子材は河水に
より出様せざるも蛤蟆河子材は河水に

り、紫戦出の経生して居りますが、他館何の発生して居りますが、他館何 深いものがある

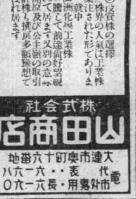
袋保

外科於尿器科 X整形外科























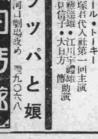




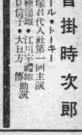








| 18700 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 | 118701 |



兄童及母性擁護施設に

東京二十三日發國通』文部省で東京二十三日發國通』文部省で

一、研究で

職會を開き一般からも基金日宮内省、内務、拓務各省思賜財團を組織するため二

東京二十三日登岡通』天皇陛下

教育の指導な「繋送あらせられた」と発送あらせられた

へ向った。宋は此度の用向は原籍 二十一日午前十一時天津出餐源南 三十二日子前十一時天津出餐源南

ば必ず勝

譽の凱旋を控へ挨拶に

團長

金 雅・成の が成の が成の がのフラッシュ で出来で この自動車で この自動車で この自動車で

がない。 ないでないた。 ないでは、 ないでは、

五萬圓御下賜

に堪へません、我帝國は趙國以來御下賜あらせられ撃旨儼康、恐懼

恩賜財團を組織

鶯藤首相謹話

廿三日後國通』御内帑金を

うろであり

御內帑金

宮中御脱窓當日内閣に野する神・明金ごに野する神・明金ごに野する神・明金ご

淺宮相謹話

関語し欠いて変内、天皇陛下に採 前十一時湯凌宮相より右御沙汰を 前十一時湯凌宮相より右御沙汰を

印編發料告。 編發科告。 編特行為。 一部資金, 人人, 指行行金。 一副三十段金 本村武 泰一副三十段 泰二二十段 泰二二十段 泰二二十段 泰二二十段 泰二二十段 泰二二十段 泰二二十段

所 行 發

地番一卅町園公東市連大 社報日洲滿意

印刷

米政府の急轉 英外交界を聳動す 鼻じろむ聯盟至上主義者 を承認すべきか

て取扱はれてゐると相俟ち滿洲國承認問題は日本の聯盟脫退一周年盟主義者は悲痛な顏でニュースを迎へてゐる、ド々 【ロンドン二十三日發國通】 米政府の滿洲國承認の可能性に關する論議はロンドン外交 界でも花を咲かせて、外務省が駐米大使館へ真相調査方を訓電したとの噂まで起り、聯 へてゐる、ドイツ商務官の滿洲國派遣の報 に際し最大の話題の一とし

日米戦起らぬや

駐米大使歸朝し軍部ご協議

貴族院豫算總

會

上作善處

全世界』を主張さ

育後の力で擬勢を張るのか 日英綿業協議停頓

日迄本總會を延長する事こ

H

外なしていふこでになり何等其機 スター岬委員会總会の結果を見る スター岬委員会總会の結果を見る

務省も夫れが軍事上のものなり 山岡軍務局長 陸軍省と外 淺田良逸男(公正) 支那福

殿政に如何に影響す一の馬匹改良が鞍達も

境に

會期限が切れるが、 首相代理の事は後に大臣が出て いっきり判らねこの話があつた、 なければ二十五日以後の事はは、 なりれば二十五日以後の事はは、 なりれば二十五日の病狀を見 なりれば二十五日の病狀を見 なりれば二十五日の病狀を見

正健康保育の施設を 大きないか では思いなが相當の では思いなが相當の では思いなが相當の では思いなが相當の ではあいまである。

養送行に支障ある時は必要な動 造憾だ、鎌算の審議上委員の職 造憾だ、鎌算の審議上委員の職 短く考へはない、又蔵、内兩相 置く考へはない、又蔵、内兩相 置く考へはない、又蔵、内兩相

対りや、或は臓相か内 以りや、或は臓相か内

齋藤首相 『東京二十三日 **齋藤首相** 『東京二十三日 変成六餘の平熱故今邀継養ゼビ來 度六六餘の平熱故今邀継養ゼビ來

坂本俊篤男(公正) 近來日露 外交の尖鋭化は遺憾である、次 きに海相は我海軍は従來の比率 もさ言つてゐる、斯くては日米 正面衝突の外なきも外相は如何 なる方策を有すると

準備金繰入 常金 配 當

百

百十七萬餘闽增加

益金

百

六

Ξ

萬

餘

配當資源もまた豐富であります御期待の如く斯界最高率を實行知種養老保險に對する利益配當

當は

L

剩

餘金

七

百六

餘

回

L

百七萬餘圓增加

増加加

二千五百二

餘萬圓增加

億四百八十餘萬圓

製作を対し

億七千四百六十餘萬四

四千二百二十餘萬國增加

御高援の賜と深く感謝致します好況を示しました、これ偏に各位帝國生命の昭和八年度業績は次の

で目頃の温敏を急に緊張させ愉快った語り内地一部新聞に報ぜられたで語り内地一部新聞に報ぜられた

神を以て臨むご言ふ考へは私も神を以て臨むご言ふ考へは私も神を以て臨むご言ふ考へは私も持つて居る、又アメリガご或る協商をする事も一つの方法だが之れはアメリカの意向も良く聞いた上具體的に考へて見たい金さを縮斯くて午後四時二十三分談話を含むた

神力を賴むドルフス氏

字垣總督ご會見

ム々の事實なし

林總裁廿三日夜歸任

ただ、の大戦兵式後の國家安泰祈聊に観くドルフス氏(右に國民兵の大戦兵式後の國家安泰祈聊に観りておいて盛大に行べら現在の大事件を豫感じてか過日ウインにおいて盛大に行りアの全國的騷擾事件に就では既報の通りであるが、寫真はン發】全世界の通信機關を謝が上にもいらだたせて居るオーン發】全世界の通信機關を謝が上にもいらだたせて居るオー 版本男 五・五・三の比率は富てにならぬものだから次の會議には一つの指導的原理による必要がある。其の原理とは各國平等權だ、日米問題は主きして太平洋の問題だが 將本東 部太平 洋にアメッカの制 海權を 認めの中央に中立水 帶を設けるとかの 対 大平洋 にアメルの中央に中立水 帯をとか、或は 太平洋の中央に中立水 帯を

社會式株險保命生國帝

山崎理事、西脇秘書役を贈へ東京 口調で聴から帰任後の採掘のこ場と説明のこ場と説明のこ場と説明のこめ新京に起 自分は貴本で乗る日車、二十三日午後七時三十 常然ではた 大概山の探礁状況等を視察し西料に は間襲申して来ることで来ることで来ることで来ることで来ることで来ることでである。

久しく軍司令官にも會はなかつ 久しく軍司令官にも接拶に行つたので 不定に接拶に行つたので て來た、だから要件のやうなも

宁學忠主席

辭意を

日軍政会議を開催の等である。日軍政会議を開催の等である、保証には光底を無南に据される、保証は宋の春派に先立ち部島市民戦感。

抱負はこれから

茶軍討伐對策 新軍討伐對策

英國政府に進入

政府撤退を要求

進

韓、宋協議

本語 問題 聴動 ない は 一地への 墓参の ため は 一地への 墓参の ため は 一根郷 する 等萬 一の 場合の 野中央 第 で 一本 新じつ、あり、今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、あり、今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、あり、今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、 あり、 今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、 なり、 今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、 なり、 今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、 なり、 今次の 宗哲元 と で 一本 新じつ、 なり に 一本 新じつ、 なり に 関い で 一本 新じつ、 なり に 関い で から に し いっと がら に し いっと がら に し いっと がら に し いっと に いっと に

電子特體廿四日發 新田の奉天 第公署總務廳長久孝成夫氏は廿四 日はごで新京より歸低、騰贊賓室 で日滿官民多數の被縛を受けたが 記者閣に方々で抱負を聞かれる 久米成夫氏着任談

社内に留保し安固を期しました。一人、資産は評價益一千餘萬圓をかくて八年度末現況は次の數字を

一億五千百二十餘萬圓

が自分は始めて満洲に來たので表だ物質さいつは別にない、寧 表が抱質さいつは別にない、寧 み皆さんから教へて頂いてこれからうか、日本では地方行政にすつこ携はつて來たのでそれらからうか、日本では地方行政にずつと携は出來ないだらう。尤目根本においては同一だらう。尤目根本においては同一だらう。尤目根本においては同一だらうと思ってぬなかった譯ではないがこちらの風俗、現狀に適したない、方法で當らればならないさ思ふ、後來滿洲への希望をいさ思ふ、後來滿洲への希望をいさ思ふ、後來滿洲への希望をいうした重職につかうこは夢にも考べてぬなかつた。皆きんの情導を得て大いにつこめたい

最後に新見での印象を降

本紙夕刊共十六頁

進精のへ仕奉と進躍 績業

分割

配配

(同五年度) (同四年度)

當

同 同

利

備益 配

九百三

+

七

萬

餘

圆

一割配當(同三年度)四一割五分配當(阿別四十年度)四十二年度)四十二年度)四十二年度

百國に付料

Ŧī.

圓圓圓圓

契配加 實純 總當入 任保 資 備利 備科 備科 產金 金式 產

最も順調に伸展しつゝあります利廻に於て高率(分玉原七毛)となりなは事業費は前年度よりも著滅し 七億七千五百六十萬圓 一千五 一億二千五百四十餘萬圓 百七十餘萬四

選證各 集書種 盡廣御 係告人宛場用の 御新方申聞に 越名贈 下御呈 さ記い の上ます

◇健康 健康 増進 震語

(D-2-a)

和に關する質質な運動である。

の硬化を計らんささへして居 を人為的に誇張して、

一層人かせる。

義だしきは、其の像

第一線には朝鮮人

内地人の移民成功困難

人亂後の已むない惰性ではあ

流れは帝制の名に依つて信用

鹽稅及び鹽價の

輕減を斷行

帝政實施の三月から

に依り國家の蔵人に及ぼす繁 である、なほ今回の複数及び変質低減の調和を聞らんとする方 通運送規定草家は二十三日漸く成済総社線國線および北鮮間貨物直

た得ざる制度であった得ざる制度であるが更に商取出 あるが更に商取出 認めるが更に商取出 認めるが更に商取出 であるこの動度を採用する。 であるこの動度を採用する。

て新しい道筋に事業概念を適

種々の文句も、不平も一應切言すれば、從來沙汰さ

べき諸計畫を助成せればなら

關東廳の稅制調査 税收入の増加ご調查の指標

税源詮索より一般研究

像標して破職を攻死するに若くは を対することになる故に将来の一 た右することになる故に将来の一

年総織された國庫補充金を歴じす出の減少に伴び最人不要の結果多

を監験さするであらうさいはれての経識時にこれを成と遂げること

三萬一

で まといくなるさいふ意識が自然 を 手といくその解験首様や 高極戦権に を 手といくその解験首様や 高極戦権に を 手といくその対象者のないのも、 で またいにはるさいふ意識が自然

「有朋堂文庫」全百二十册月別配本表

Λ

京本 京企業、高級在歌集、種和 和年 歌後高級集

六

A

制上の調査をなずこと制用の調査をなずこと

他臨時期給三萬九干他臨時期給三萬九干

大百二十四 大百二十四 大百二十四 大百二十四

滿洲移民問題論戰

ここを苦々より以上御信じてある と思ひまずけれごも、私はちよいいふさ、本際の治安維持さいふも のはまだ十年や二十年で出来べき

繋に所謂連賊が出て来て、住民 の維持は出来て居るかも知れの を持は出来て居るかも知れの

す、科君も既に御疾州の辿り、滿 うにすることは、御だらと思ひま うにすることは、御だらと思ひま

神田四七二・三六〇番市神田區錦町一丁目

有朋堂書店

れざら、今度は医さいよことに 一个次は耐ふから関連 一个次は耐ふから関連

た。八〇二一四二〇一四二〇一

大学 (別) ことは (別) ことは (別) に (別) ことは (別) に (

八七四五

米脆の近海航路補助は總額三萬

こさは寒戦に暴して臭れ、縁骸が

つた農村から追ばれたやうな人々

本 材料簿で関数なるも休日經への手 と 十銭高さ解りに引けた 今定期後場(単位銭) 等付 高値 安値 大引 特別に100元 100元 百八十五萬個 中期100元 100元 1120 出來高期近 百八十五萬個 中期100元 100元 1120 二 時100元 100元 1120 二 時100元 100元 1120 二 時100元 100元 1120 二 時100元 100元 1120 12、 12、 12.0 12、 12.0 12、 12.0 13、 12.0 13、 12.0 13、 12.0 14、 12.0 14、 12.0 15.0 16、 16.0 17.1 18.0

材料薄乍ら 鈔票强調 で五、六

包米出來不申 高樂出來不申 出來高 六十軍 出來高 六十軍 出來高 六十軍 出來高 六十軍 出來高 五千枚 出來不申 高樂出來不申 ◆現物後場○銀建)

日は密研覧施せられ職古の大無撃日は密研覧施せられ、験古の大無撃 職税三角吉黒開省監債毎擔七○銭低減を賦行することっなり、並に ◆胚帯米を野菜がほしいので自炊 生活をはじめ先づ胚帯米を駅ギ 屋で一升廿二錢で普通田粽より 一割蔵で買つたが、胚帯米をは が、配売米を取り 日銀金買入法案 來週早 すばヒッたくる其好で ものな。に四郷増の上 々議會提

『東京二十四日養國通』大藏賞で 一、買入れ價格は蔵相の認可を受 成総を得たので二十三日誌(職報) 平價さの差額補填のため政府は 成総を得たので二十三日誌(職報) 平價さの差額補填のため政府は 「月銀買入金の買入價格と公定 けるこさ けるこさ

場合は保有金融さすること

軍艦天龍廻航

大典慶祝のため

機の吹養等施送吹影とし、 ・ 一名以下 に離ること、な を響である、艦球については着々 ・ 大震である、艦球については着々

盤價に對しては台將來先進諸

九年度臨時部決算に記れる

なは関東線の財政計畫上その税割にための同にすべきかは解来の設計上 臨時如

漸漸事代費等

為替管理ご國勢調查

前支出諸費

上され其内

で、 主へ入港三月三日まで碇派する由 大概でもて概念を表するため来る 表欄でもて概念を表するため来る 大概を表するため来る で、一十八日旅順より回航午後二時大

知何は延いて 直に財 磁能壁に 勝いて 直に財 磁性を有せざるものさ も関東腺の機構と対域であれて 国連補充 をの破止は行はれのが何れにして をのしまかって 直に財 磁性を有せざるものさ 經費は左の

座談會 滿洲土建協會

型 文容易でない▲此のからだで此の 臓臓にさいふ、膨脹やら同懐やら が、ル氏の人類を離める一風だこ が、ル氏の人類を離める一風だこ にもそれがあつた、傍の不自由な にしてれがあった。傍の不自由な ルーズヴェルト大郷紙にあの螺縦にあってからだが非常に続い、一

ス及ドイツ政府が前後して満洲國 ス及ドイツ政府が前後して満洲國 、大変にも飛ばなも脱する新聞があるな にも飛ばなも脱する新聞があるな

概和の野日歌楽 南京歌・南京歌 南京歌・南京歌

甲種 金管開五十銭(最終の一颗分に完全)

上田萬年博士 關根正直博士 藤井乙男博士 監修

各品無味

休日を控へ

五八二三三 10,000 111,000 10,000

前期繰越金 計劃總越金

之宗、仁川線七千六百五十圓、大連、芝罘線二千七百圓、大連

九五、三三四圓

柳切迫る!!

即時即决!!

金五間也(最終の会長の内入に

切二月廿八

日

先づ内容見本御請求あれ

高州銀行では二十四日午後一時から同行において第二十一回定時株主總倉を開き八年下半期炒業報告、 有陽鎖、哈爾強の四支店設置の件を附職鎖、哈爾強の四支店設置の件を金嵬分左の如と

豫

約

募

集

御申込は最寄の書店へ!

芸芸

滿銀株主總會

四、請責人の詮衡について三、関税關係二、官給义は社給材料二、官給义は社給材料

非常時時代の請負方法に關

十銭高、日産、新東保合に引けたりで五品は四、五十銭高、新豆五円焼高、新豆五円がある。

內地休會 五品强調

(版二第)(二)

さ精神事業

単純でないが、最も大なる主點

滿洲國慶日

社

說

さな、隣交の大義に地域して評 数の名分に表示されんさするこ はない。

研究を重れ成素を

一般あざは

十匁ありさいまいに十

事が出来ので年上の小僧さんに事が出来ので年上の小僧さんにで、自分が百匁いくらさ云むれる。自分が百匁いくらさ云むれる。自分が百匁いくらさ云むれる。

合て確ご即も

◇ 管理町にて際壁を一本買ったら、 小僧さん国方を調べて六銭さい 小僧さん国方を調べて六銭さい

二、横洲人夫使用こ、端順師賊又は誠兵の使用こ、端順師賊又は誠兵の使用こ、端順師賊又は誠兵の使用四、朝鮮人夫使用

市

況(井四日)

を國家的に筋立てる爲めに、近方面に示して居るが、この氣運

の轉向振を政治經濟社會の各

を生じたのだ。然るにその後

出鱈目小

た七銭でよろしいさでな数のて見て間違って

◆大衆日常の必需品を販賣する酸 店が搬びも減つて斯の如く出 下が搬びも減つて斯の如く出 でありインチキである、数に 事人は我等の生活療護のために であり、数に

明かにせんさするに至った。

懸案の規定改正

二線直通連絡

五月一日より實施

力

熱歡迎

◆「有朋堂文庫」一百廿冊は、日本古典文學の精華を網羅した、學界の恒久的権威であります。

「理想的具現を標榜して、切に愛書家諸賢の御器加を襲つて止まれる然の事象でなくてはなります。ことに俄然我が「有朋堂文庫」が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程が内容の善美、體裁の優雅、會費の至廉、後頭徹尾敢て自らその建想的具現を標榜して、切に愛書家諸賢の御器加を襲つて止まれた。

「有朋堂文庫」一百廿冊は、日本古典文學再檢討の一途にその建物的具現を標榜して、切に愛書家諸賢の御器加を襲つて止まれた。

「有朋堂文庫」一百廿冊は、日本古典文學の精華を網羅した、學學の書美、體裁の優雅、會費の至廉、後頭徹尾敢て自らその理想的具現を標榜して、切に愛書家諸賢の御器加を襲つて止まれた。

至

申 ·込果然殺

債券 の利利は最低三分六

知識さ長い経験を変し、婦人雑誌でした、二割、三割さいふ高利廻

るこさも必ずしも難事ではありまん、また年二割や三割の種様を

カラク

リ物語の

尚五分までで種類で回数

に書いてあるやうな簡単なもので

ないこも同りません、以上のや

でいる~~なインチキ手限やモーにいろ~~なインチキ手限やモー

は東京の日本糖素語系株式食品になるものか素人には東京の日本糖素語系さか、日本糖素語系さか、日本糖素語系さかない。日本糖素語系さかない。
たちのか素人には呼呼に苦とむれ、東京、ナチキな名様の食品の食品の食品の食品の食品の食品が、東京、ナチキな名様の食品の食品が、東京、ナルチャルの食品の食品が、東京、ナルチャルの食品の食品が、東京、ナルチャルの食品が、東京、ナルチャルの食品が、東京、ナルチャルの食品が、大きな名様の食品が、大きな名様の食品が、

貯金よりも有利に利強が出来、まさて、たい捕殺を知らむ一方郵便

には不可能に近いる

・ 大事性の登號は全く首書あって一 ・ の盗讀を除いださかいふ嘘も勝き ・ の盗讀を除いださかいふ嘘も勝き ました。少年少女の意場から見た ました。少年少女の意場から見た

是童のための讀物 を天見讀調査會の推薦

見重にざんな書物を讃き

奉天が重調物調査會では

0

◇ 家庭講座・債券の智識◇

インチキ證券

棚ボタ式甘言で無智を釣る

を二十国の総前演りの供給で押してしまった。他の優別でも総計でも、他の優別でも総計でも、他の優別でも総計でも、他の優別でも総計して不常な他致をでも、他の優別を重めた。

交員の発言が不正外交員さいつて 打大約 は危険干萬です、外が、外交貨職手の

その他方法

したさか、學友仲間でいろり

たさかいふ話も数限りな

日

良出版物氾濫

威じ易い少年少女のために

親達の御注意を促す

满

曾てない自由奔放な型 八帽の流行譜 なば!!

にも間違いのない。

配を設出した帽子が又流行り出し

C第十三村)先

初三 段段

的で、例はでも生態の美が、これは細胞な方には

◆ 本 の婦人帽は おりも いふやうなやはらかい生地が聴能 鑢に見えませうが、若も血の大いででしたのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は似しておいのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は一声でのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておって物ではいた。 のつける様な型の帽子は概しておのの大機を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 のつける様な型の帽子は概しておのの特徴を巧にさらへて、そのデ がな流行を見せてゐます。 あなたのお顔には?

は大概の恋がよくうつります いふ方がおかぶりになるさ一層引一般 に細値のおきれいな (上から(1)思ひ切つた烈もさう リーンや淡い茶鼠系が流行りさいた美しく見せるやうです。 (新油な美しく見せるやうです。 (新油な美しく見せるやうです。 (新油な美しく見せるやうです。 (新油な美しく見せるやうです。 (新油な美しく見せるやから流行してゐるネットも緩や壁をしている。)

色は淡い茶鼠系

日本人にはブルーの濃色

舞踊日本《打合會

七六八九八八六二三

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 一一一一〇〇〇〇 八六四二〇八六四二 カタタッタッ

●一一九イ 九 ○一二〇ワ十八 〇七二ッグ 所要時間累計(監 六時三十四分 〈制限時間各七時間〉

白

對局者のことば

て雑誌の配布を希望せらる、向きに誌代及び一ケ年間の諸維費さして合計金一圓河用意の事とさて合計金一圓河用意の事となに縁校関係者以外一般の出席もなに縁校関係者以外一般の出席も 金 欄社發行、定價七十錢 ● クピフリ人形(水谷まさる著) 金 のピフリ人形(水谷まさる著)

◆推薦……否◆ ◆金時計(槇本楠郎譯)樂浪書院 養行、定價一圓 ★1つさん爺さん(北村語夫著) 関倉書房養行、定價一圓五十錢 「一個五十錢 「一個五十錢 「一個五十錢 「一個五十錢

ラブで婦人社芸會芸能で開催され ラブで婦人社芸會芸能で開催され 警會は滿鐵主催で二十六日沙河日美容學院長山本館子女史際原備廠 三月二日日の出町各家事識智所で 氣象通報

「有人」

「有人」

「有人」

「有人」

「力」

「力」</p ▲午後八時三十分 澤二三龍 特本 選社

第六回推薦剛書を左の如く發表し

たることになりました、なほ一般の を大会、同窓会方能でも十名以上 の希望者があれば時間の許す限り の希望者があれば時間の許す限り がは、同窓会方能でも十名以上

連及公

本子前十一時五十分(新泉より) 講演「御大奥を目睫に控えた滿 洲國」大毎満洲通信總局長橋崎 観一 本子後三時三十分 ニュース 本午後三時三十分 ニュース 本午後三時三十分 東京より)作 由者別現代歌謡曲集―第一部江 口夜詩作品―(一) 忘られぬ花 (二) 二つの瞳(三) 面影いる (二) 二のの瞳(三) 面影いる

コ 三 四 耳 六 七 宮松氏

平手 先七段△宮松間 W邊光子、東海林太郎、 (一) 街の流れ鳥(二 者人(五)さくら音の流れ鳥(二 新棋戰

戦の跡

政讀本に!◇

一二三四五六七八九二 六 七 大 九 中村男太郎 -- [6]--

色調 アチラでは今春はグ

(內田勇三郎)

歐米の日貨排斥の實狀

「味すべき文献」(一局格同・銀二日)(観易戦興慶の)

青ヶ島

牧野輝智

有澤廣已

苦悶の人

東京をお もふ 吉井 谷崎潤一郎本刑 死者

原

則

勇 及出と 口林 銑 十 古来の不老長需要の検討・厄本の不老長需要の検討・厄本の正書がお職労・日本の経費が利用に (岩淵 辰雄

滿洲 日 口街の人物評論(安川雄之助・中島久萬吉・永豊吉 口滿洲帝國 食 問答 帝制 (山本 一清

た。馬場 娇区

辰男

古

0

古

寫眞は關帝廟

五百名の多続に上る
なほ菱刈軍司令官は

れば自身結團式に参列し度いこれば自身結團式に参列し度いこれ。 あるが二十八日は新京における大典の前日であるため勿論來安大明の前日であるための論來安

った、側員は隣校三年生以上で手

送電

してゐるので五房店電

行事は廿三日午後二時から経順市 代各順館代表者公議會幹部等號十 名の日浦人参製の上部日は経帳公 名の日浦人参製の上部日は経帳公 を設定の上部日は経帳公

【族順】御即位式當日の旅順奉献

日

分同院坑露天棚に使用する三百馬 力の推場器に豊富する電力は延房 市部全部さ田家廳以北沙崗縣ま での九ケ所全機さ同キロの電力を 要するほご大仕掛の作業で存炭を

には絶對使用せざるやう交渉を されたが確區の水溜りをボン でられたが確區の水溜りをボン でが水作業をしてぬるので多 少のショックは発れない

(四)

高脚 Aだ、滿電が重擦するか撫順炭廠 以上四つの條性な膝詰め終押に及 り龍踊り

三、自動電壓調節器の設備をしてれるかに、送電線を二回線に増設してく 電流部の記錄の一週間の統部を擬 一、起動抵抗機器の改造をしてくして満電本社に出頭し 推弱機な一臺増設してくれれるか・ 電歴調節器の設備をして おか何れにしても多額の費用を要 、 本院玩では一番方二番方三番方に 様成し三順に交代して整を親行で 様がでは一番方二番方三番方に 本院玩では一番方二番方三番方に 本院玩では一番方二番方三番方に も神度の戀化を緩和す が受け持つか或ひは合同資格にす

事に決定し、十二條に分ってそいの三日間に取って盛大に舉行す

・ 家職組分が充滿 は、 行人の顔も

二日 館製市中游行 电最后 原親大會

中を練步 三日間、街をあげての旗行列 旅順の慶祝行事決る

大盛騰を練げらるるに付て管口日大盛騰を練げらるるに付て管口日

大盛儀を駆げらるるに付て營口日大盛儀を駆げらるるに付て營口日

人側の行事

の作業が繰返されるので電燈に輝

の需用家が一斉に立って捨て置

四、就行列 當日各日滿學生その 一門、就行列 當日各日滿學生その 一門、就行列 當日各日滿學生その 一門、就行列 當日各日滿學生その 一門、就行列 當日各日滿學生その は日本山に参拝する は日本山に参拝する なら昭和園で日蔵合同の大副賀 変を開催する(會費五十錢) 変を開催する(會費五十錢) 、本親催物 常日公議會より高 脚節、龍獅を催じ市中を練り歩 いて官衙を訪問敬意を表す、又 常日より三日間天后宮で支那芝 居を無料公開する 大、煙花は富日午前八時より終日 大典の慶念を表することにした市 原、正金、正隆、朝鮮各盤日支店 原中央政府へ市民名を以て賀表を 証宝する等である、なほ繁日銀行 の四店は二月二十六日同 日韓世にて奉告祭を執行し同十二日韓世にて奉告祭を執行し同十二日韓世にて奉告祭を執行し同十二日韓世にて奉告祭を執行し同十二日韓世にて奉告祭を執行し同十二日韓世に ラックに乗じて警口騒公署を訪ひ

事さ を協議の上、 全世登表した、度に を全登表した、度に を全登起にては満洲國帝政實施 電々會社にては満洲國帝政實施 電々會社にては満洲國帝政實施 でも之れが取扱を為す に限り左の通り特別取扱を為す に限り左の通り特別取扱を為す に限り左の通り特別取扱を為す に限り左の通り特別取扱を為す に限り左の通り特別取扱を為す

四、旅行列 當日各日滿學生その他の参加團體は旅行列を行び市中を練り歩き十一時中迄に式場中を練り歩き十一時中迄に式場下到着する。 こ 本 歌龍電報 當日米岡市長は在 旅日平人を代表し双浦公業會長 は 在 広海洲國人を代表し 祝電を をす

金州の行事

【鎌篇】滿洲國洞大典の近づくに

殺到すの

スロボ交通各車輪類には日浦南 及は水塩場と城内関帝廟前には 大アーチをつくる 大アーチをつくる



の終了する迄は「海城を築一さして雙管式を駆けた」る等大いに後援してゐる更に今後 解散 八年七月十六日繁三大 膝 衛下の その村の功勢者に黙しては表彰す として日海南帝國 長を職合村起さする籔瀬慶護村は を披掘してその標識を確覚にしく を披肉及新市街 長を職合村起さする籔瀬慶護村は を披掘してその標識を確覚にしく 総た加へるさ合能記材三百七十八 総に各大隊で機会を開き第六大隊 で、各大隊で機会を開き第六大隊

かて開宴

菱刈司令官代理も参列して

字團

八日安東で結團式

目覺ま 奉天鐵事管内だけで七百四ー 使命も重き愛護村

総た加へるこ合計的村三百七十八 大は、 家天郷事館内にけても連京 の為め自井郷事所提は赴連線議中では、 家天郷事館内にけても連京 の為め自井郷事所提は赴連線議中が、その後顧調な場みを織け現在 の解釈那に際しての事業を指合せが、その後顧調な場みを織け現在 の解釈那に際しての事業を指合せ 故南參



眼 江庄場馬 ルトクド

朝鮮、北陸、北海道行

写真、大連領導館電後開影 圆 川崎汽船) 出帜

實印の御用は

○ 松浦汽船大連出帆 ○ 景 行 昌平丸 二 遺 美時 ○ 景 行 昌平丸 二 遺 美時 ○ 景 行 昌平丸 二 遺 美時

・ 準備委員會を開催の結果、総費國ケー 大會を懸行する事こなり、二十日 では三月一日朝特製の封筒に納め 電燈局が多大の経送で三月一日朝特製の封筒に納め 電燈局が多大の経送で三月一日明特製の封筒に納め 電燈局が多大の経送で三月二十四日より二月二十八日 が上にも高瀬しては新京着 献賀電報二受附期間は 進ひ鷲地日滿宮町は新京着献賀電報二受附期間は 進ひ鷲地日滿宮町

○ 長特 ○ 日本 - ○

宜を奥へる智で 龍音山には電燈にくの

白系露人が満洲の地に安住と得る

· 整略 電二二八三○ ・ 編島 電七八一五 古着 其他脚不用品は他店より 古着 其他脚不用品は他店より 日陰町 まじえ屋電話二二五九五 日陰町 まじえ屋電話二二五九五 日陰町 まじる屋電話二二五九五

大阪商船株式大連支店大阪商船株式大連立縣通 響點荷役所大連山縣通) 車點荷役所大連山縣通) ● 日清 汽船 就出 州 一香港廣東行 藍山丸 三月十七日 一香港廣東行 藍山丸 三月十七日 田田東 三月十二日 田田東 三月十二日

事場荷扱所 大連市山縣通 事場荷扱所 運輸株式 會 社 一本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原 本天・餐口・公主嶺・瀬嶺・開原

貸衣 裳 日陰町 三浦屋 貸衣 裳 日陰町 三浦屋 電話二二六四五番 貸衣 裳 響儀用

白帆・天帆高級師化粧紙は

吉林の冬五題 小白山の



展の歴史版大戦も民職に選り、 部新京は勿論全滿各地縣の歴史の大戦も民職に選り、 部新京は勿論全滿各地縣のて奉祀 を開こでであるが、チチハ

天、吉林に準じて大規模なる慶

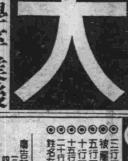
















●天津行

職策八器に於いて探知し載で捜査で奉天、撫厩の展地に於いて空泉

通三十五番判済人献力職院第250 部に使入した患者あり物音に吃驚 では、した患者あり物音に吃驚

居住無職王殿料(こ)は昨年末ハ電子、原籍山東省生れ奉天保安

宿舎荒し捕る

た賊捕はる

邦人宅を荒

被黙頼は殺六千餘圓に上る見込み地の邦人宅に優入してゐたもので

三日午前一時頃市内干代田通二縣生れ奇野正二〇三外三名は二

に拾ふ

長さしてこの認識不足さには驚欄する佐賀駿の人であるが高長

回の卒業生

大部分は上級校

全は上郷製術十六名、高等林三名を出 まままなった、これら本郷生の逝 が、これら本郷生の逝

日

お嫁さん

では難に一回旗部倉を開いたのみ

送つてあげます心配しな

認識不足の 市長様たち

さは興味ある理釈さいふべきである東都チチハルの色彩が震撃なこったの如く東国ニッポンの転前郷た

青年同志會

演說會開催

北滿第

兒童の意識

十八日から三日間

皇太子

御降

誕の奉祝祭

に即り、大教化運動を起すべく族協和、恒産富豪の四大モット

るち、公園職で協議會式次に左 今後は野外的、自己宣揚な急移受け御下階記を贈ること、なつ せる所あつた 今後は野外的、自己宣揚な急移の大名乗機裁準機執政より訓訓 ここ等二十一日の定例會介で申合 から こしてじた事業 と してじた であり 唱、開會の詞(理事長)、協議へはず、奏樂、國旗敬禮、國歌台

諸政合機關、婦人願等を合せてる者男女中小學校生徒三千五百名

圖們婦人會

頭を悩ましてゐる

發會式學行

海倫の邦人口

陸下、皇太子殿下の篤義と三盲屋安東地方事務所長の養聲で三屋安東地方事務所長の養聲で三禧な為し次いで東方に向つて關礎が出席を泰美するや全員最敬都申神官の祝詞奏上の後尚本領

『チチハル』北滿環版線の要都た 母親よりも戀人

遂に歸らぬ彼の女に 歎きの母惱みの當局

多門中將追悼

んな考へを持つてるます――チ 難び二人(理由は寒いから)チチハル』出演第一線の原軍は | ◆チチハルは好きですか

興味ある常識試問

念事業さして臨時機會の朦朧、各一かすに恐びず我子を認へばこそ驚にくその存在を各方面より経ばれ して下さいさ申出にが適の母親もなくその存在を各方面より経ばれ して下さいさ申出にが適の母親もなくその存在を各方面より経ばれ して下さいさ申出にが適の母親も 生活にさへ難して来た、之を知っ 中方になって一家は窓ちその日の 中方になって一家は窓ちその日の 中方になって一家は窓ちその日の 心配しないで下 野し藍鶸の手紙を送って来てあた をも僅かながち毎月郷里に仕送り をを僅かながち毎月郷里に仕送り で追悼會を執行する事でなった で追悼會を執行する事でなった で追悼會を執行する事でなった 同将軍で最も縁故深きチチハル市【チチハル】多門中將逝去の報に

勇士の遺骨

程である、處が本年一月五日その がく選に黄泉の客さなつたが、ど なく選に黄泉の客さなつたが、ど なく選に黄泉の客さなつたが、ど をやめたのかお前かられきも仕事 をやめたのかお前かでそこで母親し をやめたのかお前かでそこで母親し をいつこめの中からお金を送り さなくなつた。それにお前は音信も寄越 さなくなつたのでたゞお前のこ さなくなったのでなるとも仕事 さなくなった。それにお前は音信も寄越 さなくなったのでたゞお前のこ とばかりるなったが、ど もなって軽い人はたゞお前の上 さなくなったのでたゞお前のこと とはかりるなった。それにお前は音信も寄越 となくなった。それにお前は音信も寄越 となくなった。それにお前は音信も寄越 となくなった。それにお前は音信も寄越 となくなった。となりままな。それにお前は音信も寄越 となくなった。とれたが、ど 造骨は二十一日午後九時三十分戦 人の概さ散つた悪龍込物軍沈成策 人の概さ散つた悪龍込物軍沈成策 大の概さ散つた悪龍込物軍沈成策 版をしたが、來る二十八日東水鎮 中において勘整祭を執行の上類里 が、來る二十八日東水鎮 天道場に於て継行されるが参加懲亡水る二十五日午前八時から奉 職は來る二十五日午前八時から修 『憲天』全浦 威海段外者優勝等群

等二百名に上る見込みで盛**食が**脚 ▼遼陽縣治安維持委員例會は二

女は何時でも分が思いのだっ

> にぬやう びつしり人家の立

に於て施織のま、の自転車を即車 内機・中南一帳舗・花板町の変叉監。 大機・中南一帳舗・花板町の変叉監。 大機・中南一帳舗・花板町の変叉監。

・ 大一番地カフェー製売 開出により 版でなるに放映をなるた場が多勢を たのんで同カフェー 契欄の囃子二 たのんで同カフェー 製売 開めできた

で不眠を唱へる理由け

內容見本贈呈

詳細なる内容見本申込次第進呈本大百科事典の全貌を明かにす

賭博中を打

解すなくその方に注意を配ってゐたの で、デルデラミ小事に燃んで、それさ が、一般の低い話 になった。彼は前の一種の低い話 になった。彼は前の一種の低い話 になった。彼は前の一種の低い話

三等でも認動にけてもいい。

ない事はないない。…… まない答に

勢んで行く事の してあた。 の行かない。 ある。 ある。 ある。 おり記述に れる事を考え の郷しさばんだ態兵中 に 供 の ある な の が て る た に で の み な な の を れ は で ん た の の が の の れ は で か た た と か が の の か た れ は

源をそいる誤論願ひたその筋へ

ので、別に数女にしたのちやありいので、別に数女にしたのちやありいと

先級來之が飲立委員會を設けて諸て時京の途にある山梨と珠江でするため圖門婦人會を確立すべくとれば五日間の新婚旅行を終 ■門膝人會を醸成すべく ・の脚峰骸を水気に記念してゐた。 ・の脚峰骸を水気に記念してゐた。 ・一種が、妙に蹴りこんで食事を をしてるため。 では、 したしな実験をあって、何にも意識能に何か会なないまたした。 したり、他人な事に誘ったり、そんな実験をあるやうに、何時でも関連してもり、他人な事に誘ったり、そんなはにからい、友達になる事が出の際、実際な方法ででは、そんな風でする事が出の際、実際な方法ででは、そんな風でする事が出の際、実際な力法ででは、そんな風でする事が出の際、実際な力法ででは、そんな風でする事が出の際、実際な力法ででは、そんな風でする事が出る。

0

秋山は夫々料理を持文し終るさ

お庭の健康を祝し合ってから云っ食前酒の杯をおげてイヴェットさ

からつて一人で飛び出して旅行

してゐるやうちや

イヴェットは振り向いて、一寸

芙美子

.

(一月末ナチヘル観事館勝級署

四二一人四〇四口

結完卷六廿全

賣發價特念記成完! る成業大の前空界版出に遂 此の際御家庭にお備へ下さい。 出版故に部敷決定の上は少部數の重出版故に部敷決定の上は少部數の重 とす。これこそ特價奉仕の最後の機大英斷を以て御厚志御支援に報いん最後の特價提供!分割拂一時配本の最後の特價提供!分割拂一時配本の

申込締切

揃卷全の典事科百大本 よれら見を観像たつ (振替東京二九六三九) 東京日本橋吳服橋三

裝 幀 恩地孝四郎氏 B 青華/南華天金青金女字歷平臺華美本 五十頁七色刷地圖其他) 乘费每卷八百員內外(內別刷原色版寫眞版等百字每卷八百員內外(內別刷原色版寫眞版等百字一次一次一次一次一次一次一次一次

工務延人員 完結前豫約者 編輯延人員

今回の特價提供の値段と銅巻照下されば如何に順價であるか分ります。定價 A 一冊 五圓五十錢 B 一冊 七 圓 即刻書店へ御申込下さい。申込は全國各書店にて取扱ひます。 二月廿八日限

理學博士 關 口 鯉

肉彈三勇士に比す

全卷一時配本の用意か

出來ました

即刻申込下さい。

平凡社の大百科事典は日本はねるか世界」と言ってよからう。 中人社の大百科事典は日本はねるか世界」と言ってよからう。 で投に立つ。更に今一つ、日本のた。三度目に引いた東洋に關する語は採録されてなかつた。三度目に引いた東洋に関いてつき、一度目に自分の専門の事を引いて見たが、間違つてゐた。三度目に引いた東洋に関いなつ。更に今一つ、日本のた。三度目に引いた東洋に役に立つ。更に今一つ、日本のと、三度引いて三度用を足さなかつたので全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かなかつたので全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かなかつたので全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かなかったの登りを表してなかった。三度目に引いた東洋に役に立つ。更に今一つ、日本のと、三度引いて三度用を足さなかった。一度目に引いた東洋に役に立つ。ともまた割合に詳しく正確である。日本が東西しいが西洋のこともまた割合に詳しく正確である。日本が東西しいが西洋のこともまた割合に詳しく正確である。日本が東西しいが西洋の方ともまた割合に詳しく正確である。日本が東西に関いては、日本の大百科本の大百科本は、日本の大百科本の大百科本は、日本の本の大百科本の本の大百科本の大百科本の大百科本の大百科本の大百科は世界一と言へる。

Ę 世

E

具として効用無虚なるべく普く萬人に推奏するものである。がある。下は一家一人日常座右の伴侶として上は一國經世の來に對するその影響の萬大なることを思へば欣快繁じ難いも療の一大金字塔として深い意義をもつだけでなく、現在及び一種の一凡社の刊行した百科事典は寅に我が國民文化の過去の

學界の權威悉く本書を推す

公約を過たず!全廿六卷の完成を全

うせるは我が大百科事典に寄せられ

効用無盡・萬人に推奬す

H

の成はかたではかれるののは東洋ののは東洋ののはまだった。

夾竹桃や月見草

花美しき街よ野よ

2

ることを知らない。そが日本にのみ残つてなが日本にのみ残つてなる東洋文明のみであることを知ら

北

京

0

城

>

だ。流れ道つて来

は東洋の 人の手にか 人の手にか をれなり何

カサ トラ・ - D 7

しき歴史を作れ

英雄出

幸福を前にして泣く東洋の

霧の彼方の

をいか。四般の民衆は元始的には日本の持ちれか。大いか。四般の民衆は元始られた。だが四般の民衆は元始られた。大きの民衆は元始的に満ちてゐる。日本が支那が日本を必要さし、支那が日本を必要さし、支那が日本を必要されてゐる。日本が支那が日本を必要されてゐる。日本が支那が日本を必要されてゐる。日本が支那が日本を必要されてゐる。日本が支那が日本を必要されたなれば、その男ことが見ばいる。

へるに強度のヒコボンデ

丁度南支旅行中、帰事で見ても関しさが通り がかったと云本 がかったと云本 を一変を がかったと云本 を一変を のですが、 でですが、 でですが、 でできず、 に、 のでですが、 に、 のでですが、 に、 のでですが、 に、 のでですが、 に、 のでですが、 に、 のでですが、 に、 の中でタオ

でと一云よ、「その後端郭氏で会見した時、これと一云よ、「その後端郭氏で会見した時、これのですが、郭には次のやうなこごを云つた。 第二は次のやうなこごを云つた。 第二は次のやうなこごを云つた。 が、韓國の或る詩人が南亞を旅行した なんに食ったか立即かれて、人間なんの、特快な人に食ったか立即かれて、人間な人に食ったかさは土人ばだつた ない事ポーイ らしい人間と云へば土人ばだつた ない事ポーイ らしい人間と云へば土人ばだつた ない事がして よ……ご答べたさ云ふ、南亞には ないにない (株) に吹て、自然一種の陰険ささへあ もも膨い感じを操にせない、恰と しも膨い感じを操にせない、恰と がの南瓜のやうな殿がして、

新東洋主義の 化物退治

國民國家主義

マーロに云へば、國民の青春と共に國家の青 香を守れだ。國家の諸範の選手より艦磯はよ。 西洋の撃手より艦磯はよ。 西洋の撃手より艦磯はよ。 西洋の撃手より艦磯はよ。 でも繋りず支那に城火したロシア た管む。

ちりや……さハンニは力む。 生産したものを貯へた資本、これか 主産したものを貯へた資本、これか で表本を否定して生命ありや、生物た である。この生産イ 成城したなれば、世界は一新車を産資本主義の理論の選制は大きなの理論の選制は 国は、「日本人は強い。日本の殿は美しい。日本の本後はは流い。ついて、こいよ世界、日本の後はは流い。ついて、こいよ世界、日本の後は「大力で、アイと関は支那に関った。支那般は着心地がい、。支地してぬない。難く大陸の鰻日。水地してぬない。難く大陸の鰻日。水地してぬない。難く大陸の鰻日。水水の下で僕は涙を流し、な自分の思想と未來にて泣いたのだった。もわからない。中本に変した。北京の思想と未來にでは、ためが、自い臓の花が飛ぶ中のオードギバナシの生活は楽しかつた。

東洋文明靑春を唱ふ時

出でよひとりの英原で凍る彗星よ

の英雄よ

八億人泣く東洋の

東洋の

西洋文明は亡び行

化して行く、そして再び間に東洋に乗つた監時の間に東洋に乗つた監時の

本平洋よ大陸よ 北京の城にわれ死 北京の城にわれ死

れ死な

柳の

花より

も國は東 東洋出義への転換、彼は次のやうに言つてゐる。

目的は貫く

得た主義

海國性に大陸性に大陸性に海國性に大陸性に海國性に海國性に大陸性に海國性に海國性を である國家主義は前であると思ふ。人も幸福に、その人の集まもの これが國民國家主義の これが國民國家主義の これが國民國家主義の であると思ふ。人も幸福に。 かった。

壇天京北

朝の利勝球半東

永遠の青年伊東ハンニ氏が飄然と大連に姿北京で「新東洋主義」を發表したいはゆる

人をは心から打ち繰りないんだら 対を持つてゐる。日本が支 那を必要とする如く、 日本人と支那人が心か ら解け合った友とする如く、 「一部のインテリ支那要人には東 学を守るものが見たい、 ある。 日本が表として かる。 日本が表として のが見たい、 日本には東 でよい、 のが見たい。 日本が表として のが日本には東 でよい、 日本が表として のが日本として れを守るものが日本

あるのだ。見たまへ 通渡時代資本に疲れ 変の遊び洗った現地 の声間な……明確 が纏ひだ。

日本の一國民にあること 日本の一國民にあること

戦で溶かし過ぎたドイーなっとの世上が表現を政治だった。大

產資本主義

國民國家主義

は、「大陸に英雄出でよ!」 ・ 対のことだ。そうして変形のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のである。次のではそので、新のである。次のでは、対して変形が出ている。 、幸福を前にして泣く東洋 ひはその夜、新或ひはその夜、新或ひはその夜、新

新 「酸な来めて……これも将新東洋 「酸を来めて……これも将新東洋 に在きま! 「日本も英雄ない。 「日本も英雄ないがってゐる。 一日支五震に英雄出でよ。然々たる おいい物語りを作る が鳴る。 がいる。 がし。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がし。

極東大會參加に

叉部省は賛成

日本の步調漸~好轉

本各大學代表者で招待して意見を交換し助力を求めること、なつた。 本各大學代表者で招待して意見を交換し助力を求めること、なつた。 は 出 來 得る 限 り の話問して極東大會問題に就いて大會を開き氣勢を揚げると共に、日手段を 詩じて 其 の 希望に 副 ふ旨 の 言明 を 得た 本各大學代表者で招待して意見を突換し助力を求めること、なつた は 出 來 得る 限 り の話問して極東大會問題に就き職懐するところあつたが 文 部省 として は 出 來 得る 限 り の話問して極東大會問題に就き職懐するところあったが 文 部省 として は 出 來 得る 限 り の話問して極東大會問題に対して意見を突換し助力を求めること、なつた

事跡に御大典:総念地が逃てられる 敷検生徒有志の手によって近く三

影響の發起によ 日補實業無話會

大井の大ホールを設けるの 大力六百坪の平屋を建築し

新京に贈分配所

各地も増築その他盛澤山

九年度の事業費香

何れも解氷期に入

さ共に着手す

ルビンに

要十七萬圖四院壁の分配所を解放 中央分配所は現在の壁物の歳に建 中央分配所は現在の壁物の歳に建 中央分配所は現在の壁物の歳に建 中央分配所は現在の壁物の歳に建

エハルピン特曜二十四日整 昨今 北小野原東が現れ、好方から夜に かけて通行中の婦人の臀部その他 かけて通行中の婦人の臀部その他 を魅力で刺したり、素行を加へん でしたりする飲雪鏡と

滿日婦人園

【新京特電二十四日報】米は帝都

生徒達の手で

大典記念塔

陸上の猛者連が活躍

十三日午後四時半替

を避見急襲し、実際子におい

奉天

記念會館

進捗した建設計畫

をさころ残廃を戦の下に、鳳凰城 あさころ残廃を戦つ

| 「安東特電二十四日

2000司令官

豪錫

山匪を掃蕩

开上司令官督戦の下に

の一壁によつて革新職盟が國際 とて熄まない」旨打電する客 に関連接きれる所と信ずる。 に関連をされる所と信ずる。 に関連をされる所と信ずる。 に関連をされる所と信ずる。 が市 に関連をされる所と信ずる。 が市 に関連をされる所と信ずる。 が市 に関連をされる所と信ずる。 が市

白系ギャング

て、同様スポーツの國際性を逃べて、同様スポーツの國際性を逃べ 東洋平和の基礎を固 東洋平和の基礎を固 を如何に切望しつ、あるか、貴 を関係な満洲國機論さの提手が 東洋平和の基礎を固

佛國側の機嫌も直る

ける切手の数質を

他は上海落ち

際協かも覚醒せしめ、文部省館の日本興識・典型に成功し、報帳の日本に活躍なし、最近漸く日本にお る戦が花氏並に圧線が氏に難しまた別に南京政府の警艦を把握せまた別に南京政府の警艦を把握せ 切望して熄まわものである」

関も二十三日非公式に左の如き態 は満洲國の極東大會参加に關も日本時協を動かも運動してあるのに 関も二十三日非公式に左の如き態

の一流陸上選手を排除して日米野 なった 東京特電二十四日襲 日本陸上 味であ

置され、賞地の訓練 等は熱河と吉林麻客 等は熱河と吉林麻客

の際他軍に配って世四日午

電報

取扱驛で

なは詳細は覚傳係へ時合せのこと

營業課

ナ販賣を中止

御降誕祝賀會

般の不便を滿鐵考慮

手の發質を開始すること、なつ

智訓練室、選邦後来祝宴に移り、 において際際、髪飛着一千餘名、 において際際、髪飛着一千餘名、 において際際、髪飛着一千餘名、

支那の態度强硬

執政の御 天津丸で來連

堂々

と抗議と

内地の運動は成功と見込み

聯監支那に働きか

成行を信望してゐる
成行を信望してゐる

も盡力を体

かり、頭壁に抵抗・窓に蔵を雅って透起 の怪盗も逮捕

Ci-D液田取影シゲCiodを みが腰 日夜以来峻戦タイピスト戦人罹壊

募特 集店

見本要一個照會でご錢、手利なる營業一町一村一名限り特約で

護婦

22

タ

4

祉

東洋オーチス

下降近三萬本 遠機代〇敷社 製的()地及 遠昇坪四工

数名にのぼるだらうさの見込で邦人婦人は後は一切外出を中しし大恐慌を早してゐる、なほしし大恐慌を早してゐる、なほしない被害者を加へるさ十

學校卒業生

寫眞懸賞募集鐵道部で宣傳 **東乳** 株演選百八十 電三六一六 株演選百八十 電三六一六

エスカレー

神さなる論点を一般から慰養事集 神さなる論点を一般から慰養事集

練處の軍官學院を所は野宝つの脱鏡を所は

土富に低電き

第一線の重任は名譽の

地に出發

れる野來の希望を

本 の成績如何で士官に任命される響本 の成績如何で士官に任命される響がする決心で執政が皇帝に即位 大典に各第一線の整備に常り外の固めを守るさいふこさは滅 に幸せである、國内の匪賊も立 高君主國の質現で自然に解消するだらう

社會式株

等工作。 等工作。

と目が機阵昇社吾ヶ台千一約 に本全量 産 図 純 にだって、表面でしたで、あっ、アードを表面で、一般にある。

諸君

書に説く「瀟洲國より大同世界へ」の登展プログラムは東中的矜持であり明日の正確な歴史であー緒神文明の真髄を奉じ神文神武を以て之を突破し得る確信をもつてゐるのが吾等の安心組!

れよ。

一九三五・六年の年通りな心配の峰り黄編論を驀返して頼りに騒いてゐるのが鹹米の疑心に見序文を寄せて曰く岡村參謀副長閣下は本書閱讀後

深更に至るまで大艇ひを転した とげられ溶脱屋塗は全市をうけり と現代行列あり、多数の花火打ち が表現に至るまで大艇のを転じる市民

の電信電話会社 会が現金組さ

放曝で切手

道の 發展 開東軍司令官菱刑大將閣下題字

齋藤中將來連



満洲國より大同

楓洲評論社バンフレット第五號

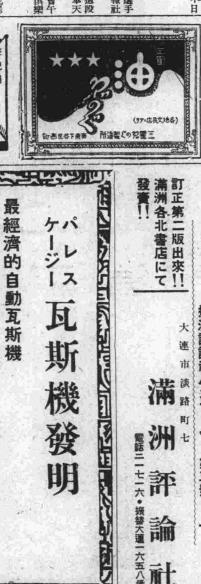
世界へ

送料金 二 〇 定價金二十段 四六版八六百

連

市

町 t



けふのスポー

大くからも是非共この際切手の被談客の不便も多く、その土地の人々からも是非共この際切手の被談を不能を表れたい誤陳懐がつとくで、 郷道部では近く職保続さ交







⑥本器は便利で經濟的純國産品にして外観内容共に加

經濟的燃料を自動的に五斯化する微妙な働きを持つ 如何なる器具も及ばない特徴

た永久的堅牢無比の製工を























②本器はガソリン

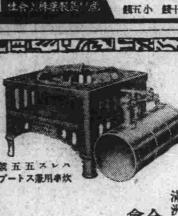
燃焼費僅かに瓦斯の三分の一にて足り

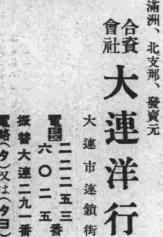
機能瓦動自一ジーケ

火力は瓦斯の二倍以上の

が出て一種も早く新妻









電略(タ)又は(タヨ)

四平街

「機能、お迎へに参りました」 さ、幽かに成力のある男の壁が さ、幽かに成力のある男の壁が いたのである。

雅を同の

た繁桃大歌からの文の意味

ちの運輸を読

見知らの男に、これ

の瞳孔が一種軟しい時である。

「楓様、御主人がお召して御座い

飛んで来た。 で、腕下の尿病な癖む足音がし で、腕下の尿病な癖も足音がし

一瞬、彼女の瞳は、ギャーたやうに、愕然さしたので

滿日柳壇課題

各題五句(各題別紙の事) 三月五日(住所氏名明記)

概は、実際に拠意した。 概要に、源の別れな告げた。 で変な、日夜親んであた室内の

H

脚た衛門が、賓客さして、經師屋へやつて来たゝめに、屋内の腰でしたから、今年の女主人公であた。 を概の身が、一時高期の形態に置いれたほとの敷除である――何っないち、今年の女主人公であた。 がしたのであった。しかも不穏からさもなく、彼女の名を呼ぶ は、それが、圧右衛門の聲で 女は氣が焦って、

脈がしさ

oが、その繋が、全く聯き動れ して繋がなかつたから、さう 念の帽を極めてゐたから、さう

間の方の

「楓殿、遊れるのはいまのうちで

ださればならね。そして、亞禮奈ださればならね。そして、亞禮奈 思ふさ、ごうしていゝかわからなまにも呼びに來はせまいか……さ 決心するさ、心は、幾分輕くな彼女が、やつき館ひ立つで、か 、痕路か幾夜がい

告謹正改段值

がで、彼女を呼ぶ繋がした 個はざくいっとた。

、力の能った、低いが

雲の行方

(四)

南

蠻彩

船

(53)

長氏

亨 春

他商品は既に値上げせられ

昨年以來原料の高騰により

弊店の微泉御賢察の上御養成別などの事と致し候間何卒として十数種だけ別項の び來り候へども諸般の事情止 今春に至る迄忍べる限り相忍 むを得ず當二月廿日より第三

にも拘らずクラフ化粧品は最にも拘らずクラフ化粧品は最 除く外多大なる犠牲を願みずし値段改正の懐も其一部分を

ルルルキキキ植ポボ美美美美 プラフヤヤヤヤポママクククケララララララファーリリン 白白白シ 中小新中瓶(海灣縣 瓶

堂陽太山中店本總職的物

ばめの日五

化 粧 品

を今回値段 改正仕候に付前回改正分以外の十數種だけ

特例 二月廿一日より十八日間愛用家各位へ奉仕 替前 奉仕デ 舉行

と協力し二月廿一日(値上實施の翌日)より十八日間即ち の甚大なる御愛顧に酬ゆるため全國各代理店全國各販賣店 クラブ化粧品、 カティ化粧品本店は一般御愛用家各位平素

一月廿一日より 三月十日まで

奉懇願候 於て特に前替値段を以て謝恩奉仕賣出 特例前替奉仕デーを催し同期間中に限り全國各販賣店 今回値段改正の クラブビシン、クラブ刷白粉、 ラン香水、クラブ洗粉、 致し候間何卒微意御了承被成下 クリーム、クラブポマー クラブ乳液、 ド、クラブキャラ香水、 一層の御愛顧御引立の クラブゼリ しを擧行する事ご クラブル クラブ美身 等に對 ブ

昭和九年二月二十日

總本店 中 山 太 陽

クラブ化粧品御愛用家各位

廣告部電四四九一

1 ----

6080 22660





つてゐる所謂自然療 部的でなく 能を旺んにして の體内に生來備 永久の全体の 一時的で

こ考込んだ

ユキフリ

オホュキダ

オヤ

シラヘテヨノッタカイスラ

ムイカラ 4

イモノガ

實際にその怪物を見た人があるの

後のこさでした。私は順がほん

怪物を見てしまったのです。午

な話とがあってたまるものか」さ

「科學文明の世の中にそんな馬鹿

ざなたらお考へになるでせうが、

日

オス湖の

にも度々解へられました、そして世界中の交明人を纏かせて本湖に何だか得鑑の知れないものが棲んで居るこの職が日本

無物さは一體何物でせうか。その正體をあばいてみませう。 物に腐るさも劣らない大悸物が現れました。ではその二つの なた折から、今度は海を炉でたアメリカの近海でネス湖の怪



ギリスと米國

世界の文明人をおどろかした 怪物にはごんな物か

はその湖の演響組合員の一老人でおら何よりの證據でせう。ネスだから何よりの證據でせう。ネス ▼氣味の惡い

を次のやうに致しました。 に書かれた出館目ださ思って居 りましたが、昨日さうく~その 「私は怪物の噂なんて全く新聞 はつきり ンさ乗つて居りました。 頭の長い 頭の上にチョコナ

トルもあったでせ

カリピア海の

爬競技が生き残ってゐたものらし

中に静かに動いて居ますので驚 って湖の北側に行ったのです。 ましたが最初に鰭さ思ったのは 怪物をはつきり見るここが出来 双眼鏡を持つて居りましたので 大きな魚の鰭のやうなものが水 さうか、ごうかを確める係めに る私は精巧な へ、うつらうつらしてゐました。 てゐました。 しんしんと寒さが身にしみて來

一心に念佛をさな

つざこささ立上り、うづく下腹を い壁で呼びます。自然さんは、トントンと応の日を叩いて、 し、和何さん!

濡れて、白雲さんは氷を抱いてれ

ました。所でこの古狸の毛は雪に

自然さんはこの古狸な抱いてれ

れがお前な温

怪物の樹でした。瘤の敷は八つ

既も極く一寸の間ですが、二度

た。頭はさても

島の沖合を去る一月三十日午後一 カリピア海セント・ユースタシア カリ深び上つたのです。長さ十 治船會社のモーレタニア號が る鉄橋でありました。その上、こ

れる尾を水中で盛んに動かしてる は漆のやうな無光りなして居り

はるここの話で持ち切りださうでのです。アメリカでは今よるささ 岸で同じやうな怪物を見たさいふ ア海に面した南米ヴェネズエラ海

起重機 が發明した物が登明した物

外の兵隊な中に引上げたりする時 起重機を使ってゐます。この起意で重い情物をおげおろしするのに でもた。ローマでは影響の時、域、機を鼓明したのは大器のローマ人 かういふものなおへだしたのです は城の門をあけては危険なので、 の中から兵隊をは、び出したり、 大連の港やそのほか大きな建築場 後は電気を 明い計は

が、今では大へん便利な機械さら「たのです。 で便利なものであり 計はすばらし 領時間なつかって ギリスのペインだい ます、この電 ます、電氣時 にはたらくの



いのです。

この特物の次に世界の人達を繋が一のやうで、水上にニメー

もたけて西南方に向って浸ぎ続やうで、水上にニメートルも踏

頭はまるで燃

お行儀の悪

ア海の怪物想像畵

れたものです。その経験の小見は てしられてゐるカリピア海に母は せたのはアメリカでも壁の海さし

二十分ののち水中に姿を消したと

サテ、何で

せう

あて、ハガキでお答へください。

みにおまちなさい。

では、なかくくの人氣者です。サーに殴りご褒美を悉しあげます。ません。これでも、「こごも新聞」」正解者にはいつものやうに二十名 る三月四日までに、大連市東公園テ、何でせうか。わかつた方は來

てつかはれてゐます

0

町満洲日報社内「滿日日曜府錄係」 一年八十五時の考へものは、アイス 第八十五回の答 ホツケー用具

相變らず正解者が多いので、緩をバーが身際につける道具でした。 直接制便でお送りします。たのし 受けてりください。消線の方には な引きかへに、本社でご褒美をお 知のはがきなあげますから、それ 内の當或者は、新聞社から當或通 たあげるこさに しました。 大連市 ひいて、今度は次の人々にご襲美 ホッケーなする時、ゴール・キ

柔かさです。 白さです。 お肌は天鷲絨の お色はほのかな

思つてゐました の前に頭を下げ し、じつき辛抱 狼の親分のや

な常のおれる河用なれ」

もう何か河用はござ

いおいます」 「ヘナー

古狸ば白螺さんの無難にあきれ

でありました。 げました。なるほごそこにはたつ 一人の村人が歌草腹をつまみあ

たですれ。ここは密院の國行方 中野さんはびつくりいたしまし書のお坊さんには磨い人が多か「「やわーつ、これはこれは」 寒さのために触れてしまったので 雲の中に倒れてゐるのでした。 めて下さいませっこんな時に犬で て、ごうか今夜一晩私な助けて温 た。そこには一匹の大きな古狸が 古狸は頭を下げて頼みました。 あつ!和尚さま。私はあまりの 温かくなり、發酵になるで狸はすするこお五に火をたいてゐるより かり不思議によく そして自然さんの病氣まで、すつ つかり元氣を恢復 してその夜狸を抱いてれました。 自思さんはしか

寒い夜の事でした。

それは、或る年の雪のふる寒い

村の山かげに、小さな庵を作つて

たつた一人で、あけくれ信心にい

ったですれ。ここは常陸の國行方

く申しつけて下さいませの必ずそことでもいたしますから、違感な 来ませんれ。つ

古狸を廃の中に抱き入れま

きましては、このお嘘に、ざんな が、白雲さんのや いらつしやるさ思 さいふものは、大 うなものばかりさい 「ごうも有難うな

「はい、先づ大僧正の位が御人用 るのかい!」

邪引きで變込んだために、薬が一郷のイヤリたいが、この間から風 には一本の新すらなかったからで 本もないのちや!けれご私の機は けれざ自然さんに默つて、この

校のつめたいせんべいぶさんにく

を集める事も出來ないで火の氣一

つないうすら寒い部屋の中で、一

なれば、すぐそのやうにいたしま ければ、そ「集める事は出来んのちや!」

お金がほこければ、干願や二千腕 なら、すぐ御用立ていたします」 新がほしいものちや!お前のおか ちやの。しかし他は二、三日分の さんでお大名になった方は、ちょ

んでした。

さうも雪の山の中に行って、木を がさけるまで動に不自由はもませげで解釈は治してもらったけれざ 再鑑さんは窓から手を出して雪 「かん!雅さいふものはエライ者」 もえる新なうんさつみ飛れて行き「ふん!雅さいふものはエライ者」りに城のやうに、うづ高く、よくte 「 て、職出して行きました。 そしてその夜のうちに家のまは めてゐました。 やないか?」 なった自然さんの家のあさかなが 來て、キョロノ 「おや!これは自雲さんの草履

包まれてゐるのか見ました。やが あれにのつて、懈に向倉して来た には何もかもなくなってゐたさう 々はこの自然さんの彫が白い黒に から何さかいたしませう!」 自い性を呼んで来てく 「あれつ」自然さんの家はごう 「やあっこれはむつからいなっ それから して、村の人 れないか、

つたんだかのう!」

成る後輩はかういつて来ました。 ではすまないがあの山の上にある 由しつけて下さい。もつと、大き さすぎます。それでは狸の方に張いませんか?貴方はあまり懸がな 「さうか、それはお氣の帯だな。 り合ひがありません。何か河用を 不意に限っぱに THE PERSON NAMED IN COLUMN TO PERSON NAMED I 店商平賛尾平·京東

一とつけで

料白美の覺感新

たゞ一品で 肌なめらかに アレを止め 淡化粧を速成する 進步した

クリーム日粉です。 明朝な別し色 清新な



口ゆきみ▲同長野美津子 立夫▲新城子湯谷年枝▲奉天谷 敏子▲鞍山早澤秀雄▲級嶺廣秀

清水たかご▲同西川保段▲チチ

大連山際正弘▲同馬場書營▲同

水脈、希望、國民、喜、

- 、 趣て儒の人の世感を一つもきゝのがさないやうにしておやりなされませんからていれいにお書きなさい。

れにものぼればのぼる道はわれ、大空にそびえて見ゆるたか

(2) 次の文か護んで後の同に答

(る)へイン深くて大きなあばれみ

(ハ)「其の」の(ロ)人々相互の

(ロ)初のかんがへなひるがへ

七、年間してはいけません。

時間はたつぶり使ひ、周圍の人に気を聞きず自分の仕事だけを一

(5)(イ)皇太子殿下の御生れ遊

(ハ)實際。調査。疑問。解決

一、 知って居ることだからさ云の頭の中で答へなつくつてみなさい

知って居ることだからと云って問題より外のことまでもながり

一、問題の繋続がわかつたなら、ざんな密へを何から書いてよいか、をちつて考へてごらんなさい。

人は人か到するこさではない。

い平和な秩序正しい世の中に

(三) 思ひの外多く

(4) 答1別20後

(2)(イ)此の世を平和な秩序正

てつさめればざんな困難な事 ある。人間もやらうで決心さ めればきつさのぼれるもので

しい世の中にする

(ロ)(イン人々相互の争がはて

ハ。明日ノ午前7時

ロ、大空にそびえて見える高い國民の力が即ち除の力である

(4) 凡そ七百年間です。

(3) 千七十餘年間です(約一千) 天照大神です。

現代の國民の覺悟はごうである 知らじめてゐるか、そこて我々

山にものぼらうさ思ってつさ

(5) 約六百年前です。 (5) 約六百年前です。 (2) 南アフリカ聯邦の物産をかてご人な利益を奥へてぬまずか

(1) 答4. 5.22

п. 14— 8

定價ノ2割引ア資ルトイクラ

エイエン

さして名高い人を二人かきなさい。

(10) 我が國史上、忠孝兩全の人

(9) 我が國の最初の年號は何さ

(3) 江戸 (4) 駿府 =

(5) 次の片假名の所へ適當な漢

。今日ノ午後九時カラ10時

(4) 次の漢字の右側にかなた

の最後の観響のために問題を混げました。これから試験を受けられる男子の方や渋線の方は、日質線の練習問題は、そつさわなた方の力をつけるために蹴分機に立つたこさ、思ひますが、今日はそ中の試験があり、滿瓣形線では三月七、八の二日間に女験校中學校も一斉に行ひます。この日曜附中の試験があり、滿瓣形線では三月七、八の二日間に女験校中學校も一斉に行ひます。この日曜附中の試験があり、滿瓣形線では三月七、八の一日間に女験校中學校も一斉に行ひます。この日曜附 の勉強の仕上げのつもりで、この問題をやってみてください。今まで真面目にこの附録を勉強して 一立派な成績で合格出来ることでせう。では元氣でおやりなさい

1、運輸灌漑に利用されてある 1、運輸灌漑に利用されてある を可要率に増水して上流か がして上流か

モ・シ・ロ・蝶・

1、金1、金

前週のお答

中等學校人學志望者 日曜の練智課題

アフリカ洲東北隅のスエズ地1、スエズ運河

(1)イ、佐久間艇長

五ケ條の御管文に

北アメリカ洲南端のパナマ地峡にあり。

(3) 次の文中――の所を解釋し「其の」は何をさしてゐるか「「其の」は何をさしてゐるか (ロ) 裁判のない世の中のあり 國史

印刷の業(ホ)着々さして進み 鐵眼の(イ)深大なる戀悲心さ あくまで(ロ)初一念なひるが へきざる熱心さは強くへい人々 (4) 武家政治は凡そ何年間でも (5) 建武の中興は今から約何年 (3) 京都に都のあったのは約何 今上天皇は第何代ですか。

H. 17-(2-1-1-

(2) 次ノ問ニ答へナサイ。

イ。或仕事ノー

時間カカリマシダ。 1時間テハ此

ロ。2.5ha ハ幾平方メートル

せられた御趣意に基くものです きなさいの もして受持の光生にみていただ

(8) 次の地名は昔の名ですれ合はそれが何さいつてるますか。 事を5ほごあげてごらん(時代順) めてごらん(時代順) めてごらん(時代順) (2) 同様支那さ我園さの間に起 (1) 國例から韓國併合までの間 (1) 小腸はごんな働きなる

(4)特に御仁徳高き天皇名をあ (2) 次の食物は主にざんな養分までか。

(6) 國史はどんなここを我々にあげてごらん(教科書中より) (3)胸の内部にごんな内臓があ A、御飯、食パン、ジャガイモ てみなさい。 風に體が變つたものか順にいつ

(5) ヒノシヤアイロン等に木の (6) いールのつぎめの所にすき エの付てゐる理由なのべなさい (8) 約。9 8 6 8 5 (6) 約。4。1 2 5 厘 中。1 2 % 一。8 厘 二。2009

(8) 王水さはざんなものですかその理由を述べなさい。 (7) 極寒の時ピンに水を一ばい

(1)へ一〇日本の國のこと(日本 (三)建御雷命の御言葉。 こうでは天照大神の御孫

ヨン

デ

ウョウ。コガネイロ。ソウギ。ウョウ。ヒガン。カハセ。ショウ、ウョウ。ヒガン。カハセ。ショ

VO

10

一、答案部人の用紙を受け取つたなら係のさしづにより、出身要技名て合闢のあるのを待ちなさい。

||一、 問題によく無を落ちつけて、始めから終りまで眺かに意味のわか氏名、番號をていれいに書きなさい。

【番外】 次の問題は人試後に までの皇統の由來なのべて大義 (4)アメリカ合衆國こ我が國こ 我が個へ輸入するもの

スのドイツのフランス 石油=アメリカ合衆國。

(5) 修身書の「國運發展」の課 をよんで、短かくまさめてご

(君)を(臣)をの日

ラビレE

めになったー

シリピレロ

り(臣)を以て(君

セピレド

(1) 路。 x= 26(2) 路。 残りン仕事を仕上ゲル ノニハ22.5日カカリマス。(3) 答。14日

(4) 答。長子~3900圈

次子~2100園 (5) 答。イ。13頁デ ロ。餘自14字分 (6) 答。34銭ノ利益デス。 (7) 答。160園

1、ヨーロツバ洲がヨ 典、楠木正成、高塵原鎌足、和氣流 洲が北によって

造します。

3 の肥料をやります。

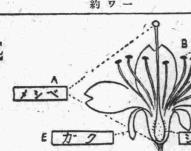
ツ、フランス に

2、工業株に造紙の (3) 海運業の 盛り

船業が盛である

SKWAYO SKWAYO

1、東洋平和のため(2)日英同盟の目的註(文句もおぼえるごよい) 3、廢せられたのは、大正 134



(3) 伊勢の宇治山田市にあつて

成立による)

天照大神をおまつりしてありま

さ、先生の恩を忘れなかつたさ

明したさころです。

研究して遂にかすりの織方な要

自分の仕事に常に工夫

(4) 軍用の郵便紙を自分一個の

古事記傳

大日本史=徳川は

もくないことださ知つていらつ

藩生 君平

五分の四の割合でまざい 二つ以上の物が結び

ません)その割合は五

色もニホヒもない氣體で えるが物な燃やす まじつてゐる物に

(8) 鹽鎖を暗頼さ (7)水は水るご時 (6)暑い夏の頃と らピンが割れるのです。 さ云ふので王水さ つて金屬の王様の も差支へないやう しんがのびて いつたのです

(1) 食物な水にさけ易く壁化さ

ヲカデアスターセ

胃腸の機能を助長し 食慾を催進し榮養を増進す

タカデアスターゼは、高峰博士競見にかいる蜀祭の消化酵素にして、穀費以來既に 約三十年、世界の治療界に質用せられ、その應用は**適り胃脳病の**みならず、荷も清 化潜能を効長し、食慾を妄起せしめ、発表の増進を必要とする凡ての疾患にあり、

似て非なる消化素あり。必ずタカデアスターゼと指定を要す……

包装 粉末 14瓦入 / 28瓦入 錠劑 30錠入 100錠入 外に大量入あり 設明書御申越次第進呈す

> 京東・室町 三共株式會社 **六連市山縣通一八一 株式會社共業品販賣所三**



化學的に於て其最高標準を示す。效果頗る佳良にして且 消化器障碍等なきは多數實驗醫家の認むるところなり。

必ず三共アスピリン又はオポピリンと指定側用命を乞ふ 感冒、頭痛、齒痛、神經痛、ロイマチス等 宋 25瓦入 銨 6錠入 20錠入

東京・室町三共株式會社











(三)

八年戰役 關東州、樺太南部

臺灣、澎湖諸島

左の人々の名高い事蹟を一つ

間Cロンその季節をあらけて言 そばされたのですか。

も夢のやうに船歌が聞えて來

出はごこへ行つたかわからな

(イン(ロ)の間に答へなさい。 左の明治天皇御製について 日

ふもさの川を白帆が二つ三つ通 学の右にかなかつけなさい。

八蓋を切り

0.1)=

問題の正解集 入試適齢の子と親に捧ぐ

の人業はこれから自分薬の受ける時の髪巻にして下さい。としてみて下さい。そしてまだ試験を受けない男子の方や沿線が上によってなるではあってすから早速各校の総職問題を集めて、これを小敷校の標常六年の受け持ちの大勢の先生方にお願い心配になつてあるでせう。ですから早速各校の総職問題を集めて、これを小敷校の標常六年の受け持ちの大勢の先生方にお願い心配になつてあるでせう。ですから早速各校の総職を受けた人産は自分の書いた答べが出来てゐるかごうか後も融むれない程準を高。女に五人、女子翻案に七人ありました。試験を受けた人産は自分の書いた答べが出来てゐるかごうか後も融むれたい程のでは、女子翻案に七人ありました。試験の気めに形角の試験を受けるここの出来なかつた無の蔽な人が眺明部女に四人、とれて正さい答を書いていた。

旅大高等女學校 邊遠く櫻がりするますらなの に、荒駒な馴らしがてらに、野 1、海原はみごりに晴れて、 答(不)冬(日)自雪 松のこするさやかにふれる白 の作り方を一研究しこれをあら や利用の方法は、決してこれで 人は生活上の一必要がら熱や光 れなさい。 言葉な漢字で□の中に書き

次にあげた言葉の中で、意味の

左の文中

の中へ、

天津條約を結びま

大日本帝國憲法の制定にてが

きなり右の手の虫を口の中へ さ珍しい甲虫が二匹のため

分けがはつきりつきます。

答い事で悪い事での見

何かよい事をす

答(不)容

つて行く。あれは港の舞船へ審 ・きがはらの秋 歌明 されるから知れない。 完成したさいふわけではある 左に五つの短い文があり 早速兩手に一匹づつつか の中に 蟲は得 で晴れて、はつきりでまこと 其の刹那彼は迷の雲が すら思ひかこらしてゐるさ、

ないつ方に志してか、日盛り 答(イ)秋(ロ)秋の夜の月

(イ)夏(ロ)やけたる道

胸中にみなぎりあふれた。 はぬられねさいふ慈悲の心が、 の道を悟り得た。彼は此の心境 の尊さに敷日の間唯 てゐたが、 やがて此の尊い

間に起きた二大戦役さ其の結 我が國が治めるやうになった地 明治時代に我が國ご外國ごの なった地方に 答 60.06 · 17 · 68 ÷ 5 · 2 3.4

久ノ式ラ計算シナサイ 明治維新 3.2

赤穂義士の仇討 標田門外の變 概田門外の變 、左ノ略圖ハアジャ洲ノ一部テ 示シタモノデス。イロハニはへ 1 0時間

ガ泳ギャスイノハ 答海ノ水ハ川 何故デスカ。

浮セルカガ大 池ノ水ヨリ重 ノ内部ニハド (2)

80圓デ買入レ年1割2分ノ配 2) 3圓50錢=賣ルト4割/ 盆ガアル品チ2圓80錢=賣ル 30級/企

50周×0.12=6回 次ノ文チ體ンデ、線チ引イテ 1-80周=0.075 7分6厘

雪白の地に紅の日の丸なるがけ 剛號にかなび (1) 皇威の發揚 時時不旺邊門に入城しました。省無河財後にあたった腰部部除の主

株書有の國献に警つて市民は如何 大なを管を持たればならないかさ 、此の日一弊に大連、案天で市民族 は午後二時日本人側は漸級協和會 は午後二時日本人側は漸級協和會 は年後二時日本人側は漸級協和會 ちれましたが、これし非常な監視 後六時から奉天中學校の講堂で開。 後六時から奉天中學校の講堂で開。 我軍破竹の勢で前進

馮占海軍との激戦

お手繋業在地方に三日の午前三時 を実が派失しました。陸では難断 をはじめたので流散の住民は避難 をはじめたので流散の住民は避難 をましたが数五分の後大きな電 で大地震が起り千二百月の 大きなでは、大きな電 東北に地震大津浪 長は榮養を記ざる

動作、感動れなどを感じ、一般に の前ぶれで自量的光候として質繁 の前ぶれで自量的光候として質繁 が、感動の振み、全身のだるさ、 関係り、壁の振み、全身のだるさ、 エネルギー柳崎が不十分!)り の製造元たる内分が繋が来に繋へ の製造元たる内分が繋が来に繋へ 起すためであります。 腎腸・ホルモン

そして物力生活の復活を置すである。 大いで変形に従って駆けれるのが順、

U ろ 子

血態が高くなります。

事、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 一門、端息、螺衛網 便秘、下痢、 愍

もなど無数所まる話で もなど、大変なのでである。 をはないでは、 を表する権力が表する。 をないたと無数所まる話で

武藤軍司令官宣言 年 0 張學良の逃げ仕度 回

大連 **鞍商業學校** 科 「力」トイフ字テ鏡ニウッセバ

2

化シマスカの

朝鮮征伐(國內の平定、

ートルノヒモチ切り取レバ8

ノヒモカラ長サ33センラ

ン群島

ホド高イ音ラ酸シャス

ル 答 古事記博 (ハ) 後フ人ニドンナ影響テ奥へ マシタカ。

答意王心をおこさしめた

下ノ文中ロノ中ニ必要ナ字チ

答寛政の頃(徳川時代の末頃) (ロ)最モ有名ナ潜書ハ何デシタ

答明治天皇が順民の幸福をはか

り、相共に関連を進めやうさの

大御心から御制定になり、國民

もこぞつて其の御仁徳をあふぎ

(イ) イツ頃ノ人デシタカ。

物の大キク振動スルホド強 イ音・酸シ、ハヤク振動スル

キッケルモノニ〇印ラッケ 次ノ四ツノモノノ中デ磁石ガ (一)コンプ (な)とジキ

ハカ(計)らなければならね。

我が帝國憲法ニッイテ左ノ問

時30分

小村壽太郎

オ金ナ25回50銭持ツテキ

产公益事業二為明

へ、南 洋 郷 本、関 東 郷 経督府

通し、鮮興も掃蕩され渚洲國の民流溯圏が建國されてから一年な經

ので熱河の脳流も間近いこと、な 張學良は日滿軍が猛烈に進撃した

、張摩線に命じてバリに莫

衆は安んじて生業につくことが出

1)×数%×(1

=17

各皇后陛下

各一無役の義務 務チニッ學ゲナ (T)128 路 45 次ノ式チ計算シナサイ

には依然さして北支軍権が政局して来ましたが、たく熱河省の境域

戸の家を借りて家族の歌歌戦略をついている。これがわかりました。その外歌戦 ここがわかりました。その外壁は

してゐるさいふこさもわかりま

けれざも經濟的には事致上ざうしけれざも經濟的には事致上ざうし では滿洲國を水流しやうさしない来るやうになりました。國際聯盟

いつでも遊

て

名 2.4於0.00048

8:15=12:x

(=) 105 + 7

が軍の公正なる立場を中外に整明 が軍の公正なる立場を中外に整明 なりましたので武藤軍司令官は我 なりましたので武藤軍司令官は我 が軍の公正なる立場を中外に整明 奉天で市民演説會 滿洲國では國内の既成鐵道を滿纖 既成鐵道滿鐵委託

で三月一日午後三時、滿瀬本計で その登表があり

ひケロリおれ、終

が何なる気景を限しては身間に

本が快速なため疲労物質が受時限で、エネルギーが 要當に解はれて行くからに外なり

が、ところが人生の置ら味が高く判断とところが人生の置ら味が高く判した。 をとうが人生の置ら味が高く判した。 をは少しの適等もえらくこたへ、 がは少しの適等もえらくこたへ、 を対するが、となりでは、 を対するが、となりでは、 を対するが、となりでは、 を対するという。 を対すると、 を対すると、 を対すると、 を対すると、 を対すると、 を対すると、 をがし、 をがし。 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 めの疲れが三日も五日も持越すより、根気はすつかり失せてかりそ

青春に歸れ

で変められてある大震の全有効成 を残ひ、その効果をすでに一般所 を残ひ、その効果をすでに一般所 旺盛な精力は 老弱病弱體を征服する

何 故 形 民族 早: の 一老を知らぬか?

中でも奉天の東

坑で、こゝである(撫順) 産地が多い。

(4)まどりけがなくて正し

水一大根珠噴汁

野菜)生ゆばさ蒸え 人ごうの甘煮さ蒸え

木(米葱水噌汁、キャ

火 豆腐味噌汁

清汁(オポロ昆布)

月もやし味噌汁

金平ごばう

山芋三杯酢 ・白たき) 臓物

大干若布がおろいけ

ほうれん草おひたしいき、うれん草おひたし

國の勢の盛なこと

き(5)愛國の歪滅を表す

氏の(4)純正潔白なる性質な

(3) 旭日昇天の勢あるな思は (2) 関連の降昌、さながら

さらいふべきかっ

(1) 天皇の御殿光をあげ

金油揚味噌汁

氣をもむお父さん、

お母さん達

▽全國

各

藥店、

朝鮮

滿 洲

國支那、

外大藥店に販賣する

登

慢 水儿

効果と安全具備の理想



(喘息)・ぜんそくにてゼイゼイ息切する人 (咳痰)・たんにて常にゴホンゴホン悩む人

(頻咳)・せき頻りに出て夜中オチオチ眠家る人

(流感)・流行感冒より起るたんせきの人 (肺病)・肺病にて常にがなきせき出づる人

(音聲)・音聲のかれ又は咽喉の痛む人 (血混)・たん臭氣を帶び時々血の変る人

香味爽かに絶對に副作用なし

(小兒)・百日せき又ははしきぜきの小兒

會株 東京市神田區豊島町交叉點

六四十八四二 十八日日 日日中 分分分分分 **-** # = =